

市原市スポーツ推進計画



2017年3月

市原市

はじめに



スポーツは、人々に夢や感動を与えてくれる大きな力を持っているだけではなく、青少年の健全育成や心身の健康保持・増進に重要な役割を果たすとともに、仲間づくり、地域の一体感の醸成などによる地域コミュニティの活性化やまちの魅力づくりなど、様々な効果が期待されます。

国においては文部科学省のスポーツ審議会がスポーツ基本計画の答申の中で、その基本方針を『スポーツは「世界共通の人類の文化」であり、国民の成熟した文化としてスポーツを一層根付かせ豊かな未来を創ることが、スポーツに携わる者の最大の使命である。』としています。

昨年開催されたりオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、日本選手団の大活躍で国内が大いに盛り上がりました。次回の2020年東京開催に向け、このスポーツへの関心の高まりを、交流人口の拡大や国際交流につなげ、人と地域が輝くまちづくりを推進する絶好の機会が到来しています。

このような状況のもと、この度策定する「市原市スポーツ推進計画」では、スポーツを通じて健康で活力にあふれる「ひとの力」を育むとともに、本市の持つ充実した施設や、スポーツに関わる人材などの「地域力」を活用し、様々な主体との連携を進めるなど、スポーツから本市の魅力を高める取組を推進することで、市民がいちはらに愛着と誇りを持ち、スポーツが日々の生活の一部となるよう「ひとと地域のかがやきが育む いちはらのスポーツ文化」を基本理念として掲げました。

本計画に掲げる施策を着実に展開し、市原市教育大綱における基本理念「未来へつなぐ市原の教育」とともに、本市の最上位計画である市原市総合計画の目指す都市像「夢つなぎ ひときらめく 未来創造都市 いちはら」の実現につなげてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様の積極的な参画をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提言をお寄せいただきました多くの皆様に対し心より感謝いたします。

2017年3月

市原市長 小出 譲治

目 次

第1章 計画の概要	
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
4 計画における「スポーツ」の範囲	2
第2章 計画策定の背景	
1 スポーツの意義	4
2 社会状況の変化等	5
3 国・県の動向	10
4 本市のスポーツ環境の現状	11
5 今後の施策に反映させる課題の整理	16
第3章 計画の基本的な考え方	
1 計画の基本理念	17
2 計画の基本方針	18
3 計画の挑戦指標	19
4 施策の体系	20
第4章 計画推進のための施策	
1 [基本方針:1]ライフステージに応じたスポーツの推進	22
2 [基本方針:2]地域の力を活かしたスポーツの推進	31
3 [基本方針:3]交流と連携によるスポーツの推進	39
第5章 計画の推進にあたって	
1 計画の進行管理	42
資料編	
1 計画の策定経過	43
2 スポーツに関するデータ	49

スポーツ健康都市宣言に関する決議

私たち市原市民は、一人ひとりが生涯を通じて
スポーツに親しみ、健康でたくましい心と身体を
つくとともに、さらに市民の交流を深め、
連帯感に支えられた明るく豊かな住みよいまちを
築くことをめざし、
ここにスポーツ健康都市を宣言します。

- 一、すべての市民がスポーツを楽しみ健康になろう。
- 一、すべての市民が力を合わせてスポーツのできる場をつくろう。
- 一、すべての市民がスポーツに進んで参加しよう。
- 一、すべての市民が身近にスポーツのできる仲間をつくろう。
- 一、すべての市民がスポーツを通して国際交流を深めよう。

平成 五年 三月 二十五日

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

本市では、1993年にスポーツを通じた明るく豊かな住みよいまちを築くことを目指し「スポーツ健康都市」を宣言しました。そして、1997年11月に「市原市スポーツ振興マスタープラン」を策定しました。

また、2009年8月には、さらなる市民のスポーツ振興を図るため、「改訂市原市スポーツ振興マスタープラン」(以下「前計画」という。)を策定し、運動の実践を通して人々の心身を育む「体育」に重きを置き、市民の健康・体力の維持増進を第一の目標に掲げ、競技スポーツやレクリエーションはもとより、生活運動^{※1}も含めた「体育・スポーツ」すべてを「スポーツ」と定義し、スポーツ振興施策を展開してきました。

この間、国においては、2010年にスポーツを国家戦略とする「スポーツ立国戦略」が策定され、この戦略を基に2011年8月には「スポーツ振興法」を全面改正した「スポーツ基本法」が施行されました。

この法律では、スポーツに関する基本理念が定められ、この基本理念に則り、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じたスポーツ施策を策定・実施することが、地方公共団体の責務とされました。

本市においては、2016年3月策定の「市原市人口ビジョン」にも示されているとおり、今後、人口減少・少子高齢化がますます進むものと予想され、本市スポーツを取り巻く社会環境は大きく変化しつつあります。

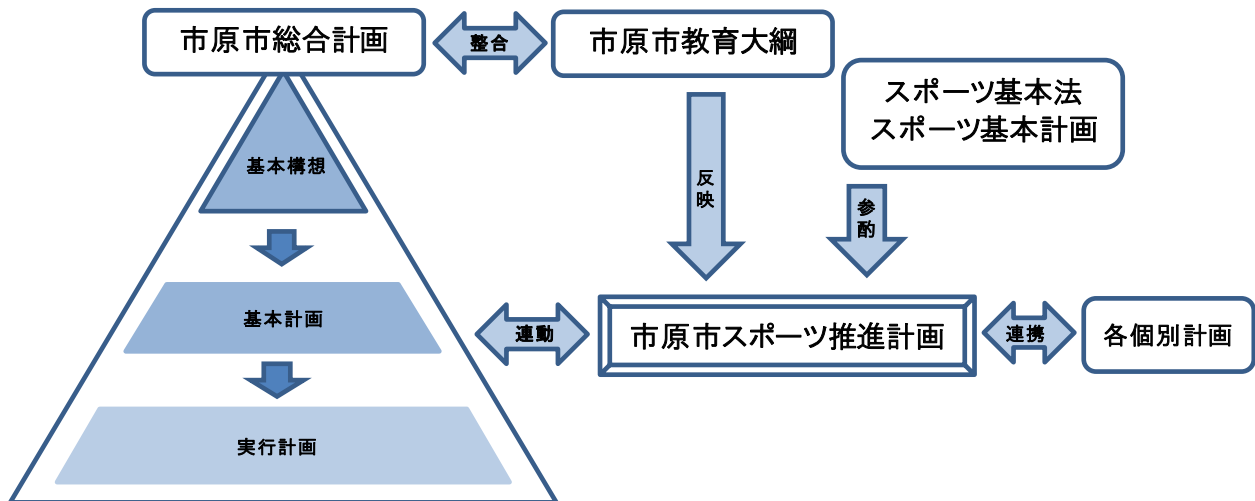
さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催は、スポーツに対する市民意識の高揚が期待されるなど、本市のスポーツ文化の醸成に大きな影響を与えるものと考えられます。

このようなことから、時代の変化に適応し、本市における今後のスポーツ施策を総合的かつ計画的に推進するための羅針盤として「市原市スポーツ推進計画」(以下「本計画」という。)を策定します。

※1 生活運動・・・通勤・家事・犬の散歩など、生活の中での身体活動

2 計画の位置づけ

本計画は、本市の実情に即したスポーツ推進の基本となる計画として策定するもので、「市原市総合計画」における基本計画を構成し、スポーツ推進を具現化する個別計画です。



3 計画の期間

本計画の計画期間は、「市原市総合計画」に合わせ、2017年度から2026年度までの10年間とします。

4 計画における「スポーツ」の範囲

スポーツ基本法において、スポーツは、「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵(かん)養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と定義されています。

この考え方を踏まえ、本計画では、野球やサッカーのような勝敗や記録を争う競技スポーツだけでなく、健康づくりのためのウォーキングやラジオ体操、ハイキング・キャンプなどの野外活動、さらに、目的を持って行われる日常生活での生活運動についても、スポーツとして幅広く捉えます。

また、スポーツ観戦や応援を楽しむ(みる)、そして、スポーツ指導やボランティアなど、スポーツを「する」「みる」人の補助・支援といった(ささえる)活動もスポーツ活動として捉え推進していきます。



コラム（スポーツ活動について）

生涯を通じたスポーツ活動

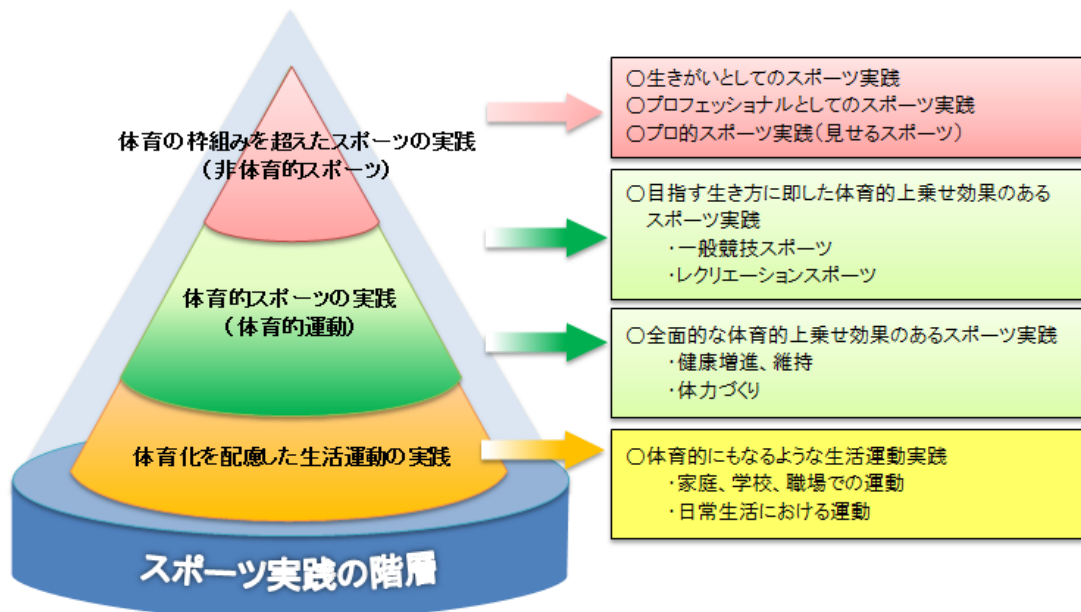
生涯スポーツというと、漠然と一つのスポーツを生涯にわたって行い楽しむことだと誤解されている場合がある。このような捉え方であると、長い間には、片寄った負荷が身体に生じ、スポーツが障害や病気の原因にもなりかねない。

一方、学校の体育科目では、各種のスポーツを計画的に指導することとしている。これは、各種スポーツにはそれぞれ異なった特徴があり、一つのスポーツのみでは児童生徒への心身の効果が十分に期待できないからである。

生涯スポーツは、原則的には、学校の体育科目における多角的なスポーツ実践の延長線上になければならない性質のものである。生涯スポーツの実践が人間の生活・生存に欠くことのできないような効果を生むようにするには、何よりもまず日常生活に伴う各種の生活上の運動が心身への影響を及ぼすようにすること、言い換えれば、生活運動の体育的スポーツ化（体育運動化）を図ることが重要である。

〔(出典)「生涯スポーツと見る・見せるスポーツの在り方」(体育・スポーツ行政研究 2 巻 1 号): 廣橋 義敬〕

スポーツ実践の階層性



〔作図: 千葉大学名誉教授 廣橋 義敬〕

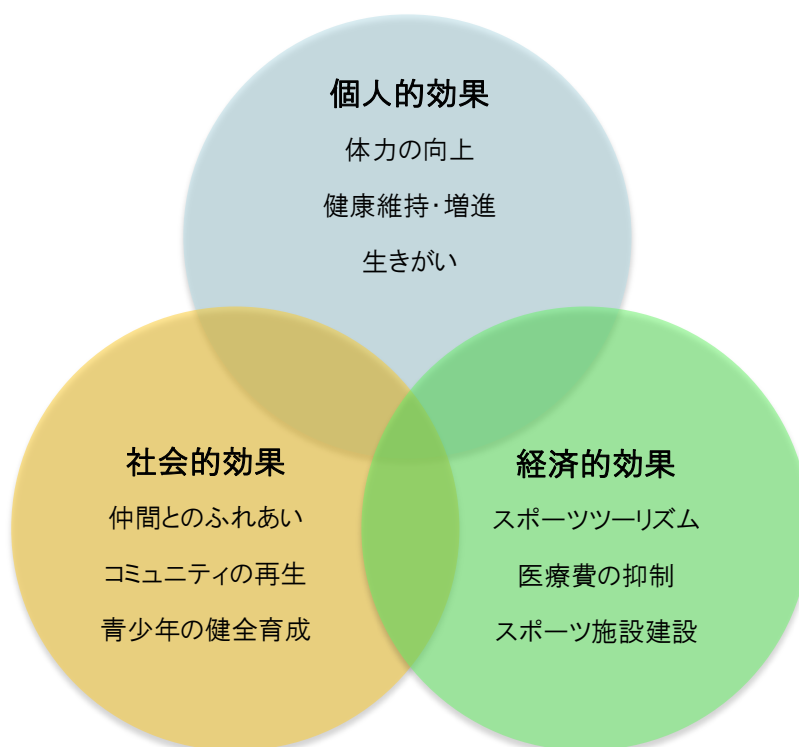
第2章 計画策定の背景

1 スポーツの意義

スポーツには、健康で自立した生活を実現する「からだ」と、スポーツを行うことによって得られる爽快感、達成感、連帯感などの「こころ」の両面から心身の健全な発達を促し、人生をより充実したものとするとともに、豊かで活力ある地域社会の形成に寄与する大きな役割があります。

さらにスポーツの推進により、体力向上はもちろん、心身の健康の保持増進などの個人的効果、医療費の抑制やスポーツツーリズムによる社会経済の活力の創造といった経済的效果、青少年の健全育成や地域コミュニティの再生などの社会的効果など、多面的な効果が期待されます。

(図表 2-1) スポーツの多面的効果

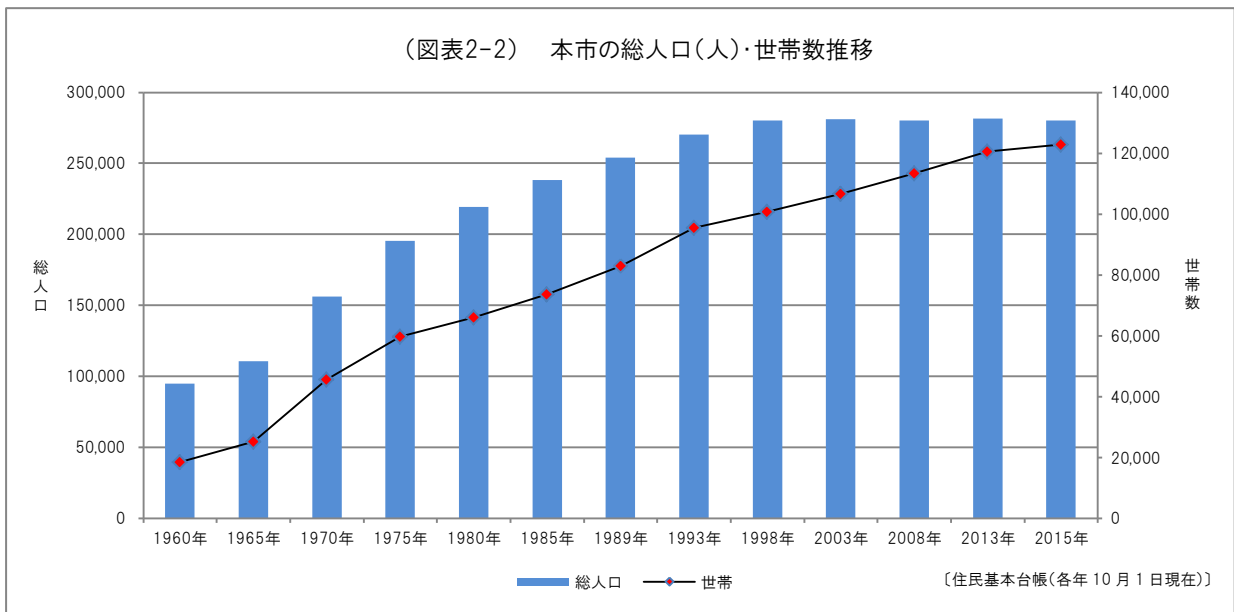


〔(出典)「スポーツ白書スポーツの新たな価値の発見 2006 年」笹川スポーツ財団〕

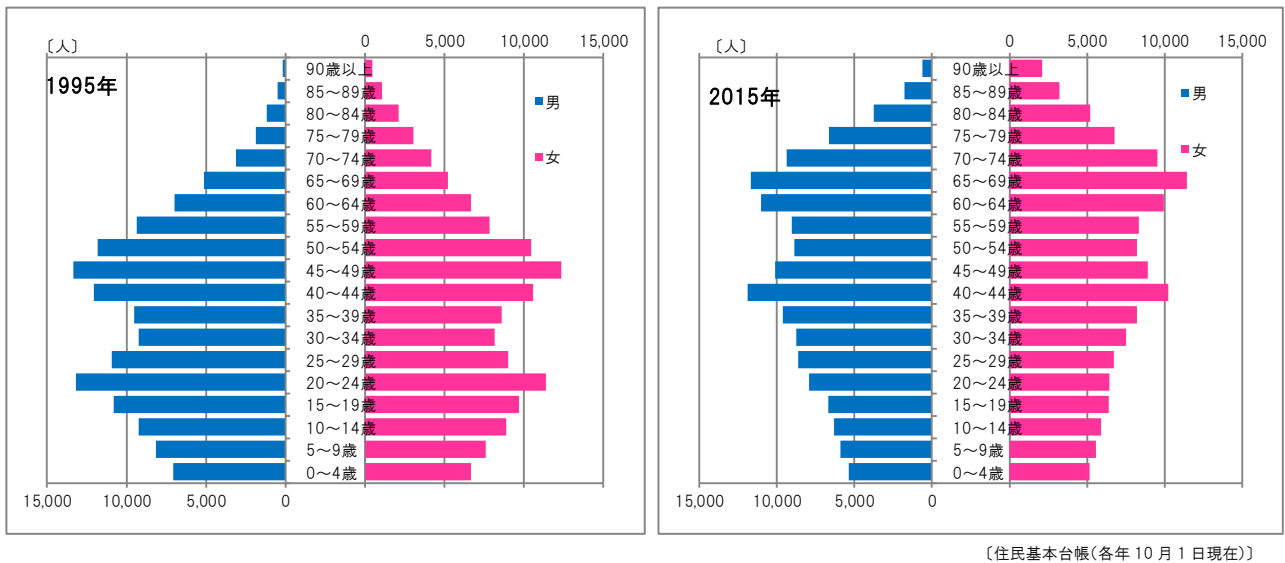
2 社会状況の変化等

【人口減少・少子高齢化の進展】

- ・我が国の人口は、2008年の1億2,808万4千人をピークに減少傾向にあります。
- ・総人口が減少する中で、高齢化率は上昇を続けており、2015年には26.7%、2035年には33.4%、2060年には39.9%に達する見込みです。
- ・本市の人口は、1955年代から1965年代にかけて臨海部企業の進出が相次いだことや、その後の市街地整備等により、急激に増加を続けてきました。しかしながら、少子高齢化の影響等により、2003年をピーク(281,173人)に、減少傾向にあります。一方、世帯数は現在まで増加傾向にあるものの、世帯人員数は減少を続けています。



(図表2-3) 本市の人口ピラミッドの変化



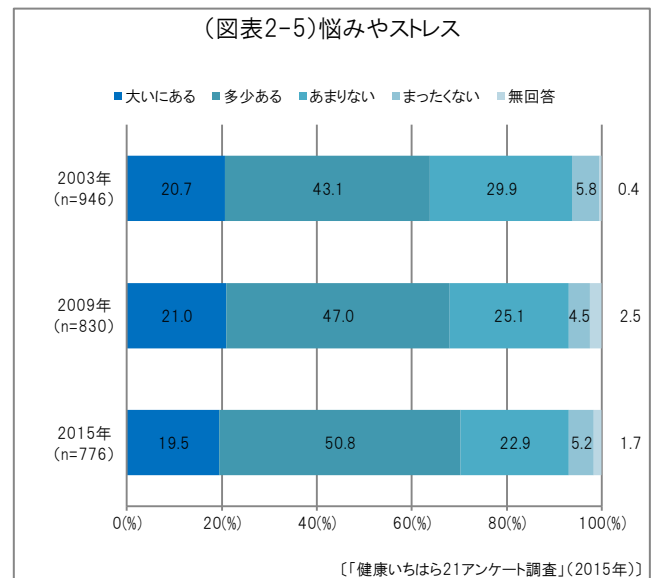
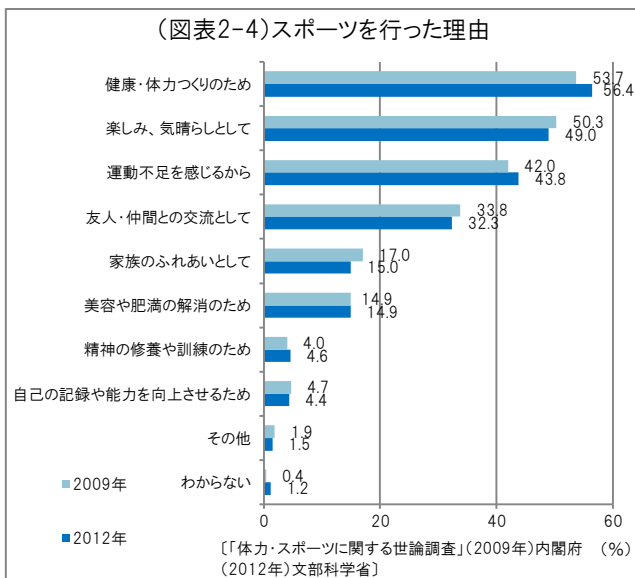
【健康に対する意識の高まり】

・利便性の向上やインターネットの普及による情報化社会の進展など、快適な生活ができるようになってい一方、これらは運動不足などに伴う生活習慣病の増大、複雑多様化する現代社会におけるストレスの増加につながるといった、健康への影響があります。

・成人の週1回以上のスポーツ実施率は、この30年間増加傾向にありましたが、2015年度の調査では40.4%と前回調査(2012年)の47.5%から7.1ポイント減少しています。とりわけ、学生から社会人となる20歳代や仕事・子育てで忙しくなる30歳代のスポーツ実施率が30%弱にとどまっています。

・国民医療費が年間約40兆円に達している中、スポーツ活動や運動習慣が医療費抑制・削減の効果として、運動プログラムの開始3年後のスポーツ実施者と非実施者の年間医療費を比較したところ、年間で一人当たり約10万円の医療費抑制効果があるとの調査結果が出ています。※2

・こうした中、「体力・スポーツに関する世論調査」※3では、スポーツを行った理由として、「健康・体力づくりのため」、「運動不足を感じるから」といった健康を理由とした回答が増加しています。また、「楽しみ、気晴らしとして」といったストレス解消などを目的にスポーツを行っていることも多いなど、心身の健康に対する意識は高くなってきており、スポーツが果たす役割や意義は大きくなっています。



※2 新潟県見附市における健康情報管理システムを活用したプログラムの実証実験の結果

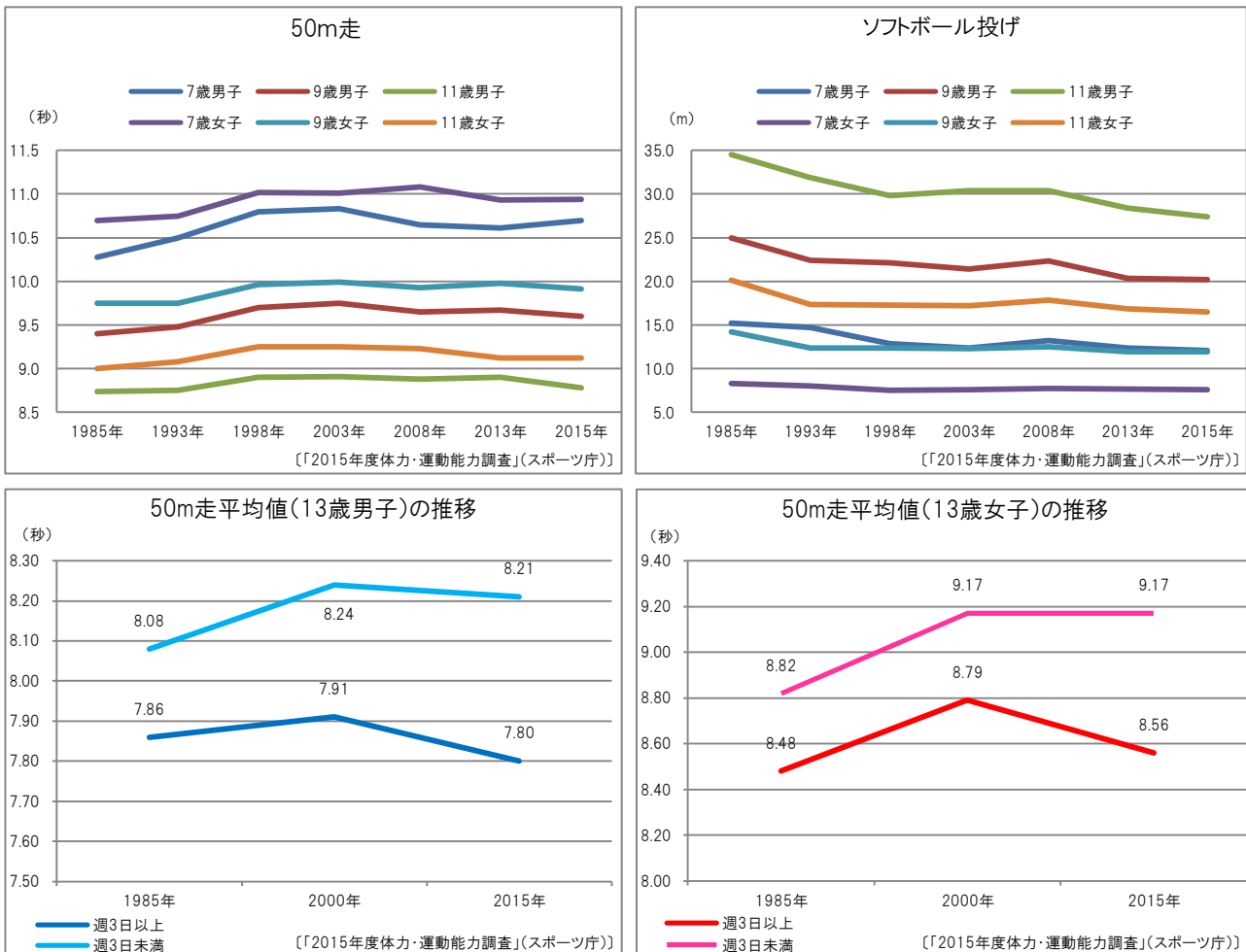
※3 2012年 文部科学省調査

【子どもの体力向上】

・文部科学省が実施している「体力・運動能力調査」によると、子どもの体力は2001年から約10年間にわたり低下傾向に概ね歯止めがかかってきていますが、全国的に体力水準の高かった1985年頃と比較すると、依然として低い状況にあるとされています。これを受け、2012年に策定された国のスポーツ基本計画では、学校と地域における子どものスポーツ機会の充実を図り「今後10年以内に、子どもの体力が1985年頃の水準を上回ることができるよう、今後5年間、体力の向上傾向が維持され、確実なものとなること」を目標として掲げています。

・また、「体力・運動能力調査」では、子どもの体力について「よく運動している子どもに比べ、あまり運動していない子どもがより低下している。したがって、今後は運動が不足しがちな子どもたちへの対策が重要」としており、積極的にスポーツをする子どもとそうでない子どもの二極化が顕著に認められています。

(図表 2-6) 子どもの体力・運動能力の年次推移



【障がい者スポーツの推進】

- ・スポーツ基本法では、第 2 条の基本理念に「障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じ必要な配慮をしつつ推進しなければならない」と明記され、障がい者スポーツの推進が、国のスポーツ振興の重要な政策の一つとして位置づけられました。
- ・障がいのある人々の社会参加の進出や、障がいのある人々に対する理解を深めるため、障がい者スポーツの全国的な祭典として「全国障害者スポーツ大会」が 1992 年から開催されています。
- ・地域におけるスポーツにおいては、障がい者のスポーツ活動に知見のあるスポーツ指導者の確保や障がい者に配慮した施設・設備の整備が課題とされており^{※4}、また、障がい者の成人の週 1 回以上のスポーツ・レクリエーション実施率は 18.2%^{※5}にとどまっています。
- ・2016 年リオパラリンピックでの日本代表選手の活躍により、パラスポーツへの関心は高まっています。また、2020 年東京パラリンピックでは、千葉市がゴールボール、車いすフェンシング、シッティングバレー、テコンドーの競技会場となっており、大会がより身近になり、障がい者に対する理解やパラスポーツへの関心がより高まることが期待されます。



コラム (パラリンピック)

パラリンピック(Paralympic)とは、4年に1度、にオリンピック開催都市で行われている「もう一つの(Parallel)+オリンピック(Olympic)」のこと。夏季競技大会(22 競技)と冬季競技大会(5 競技)が開催されています。



※4 「今後の地域スポーツの推進方策に関する提言」(2015 年 今後の地域スポーツ推進体制の在り方に関する有識者会議 文部科学省)

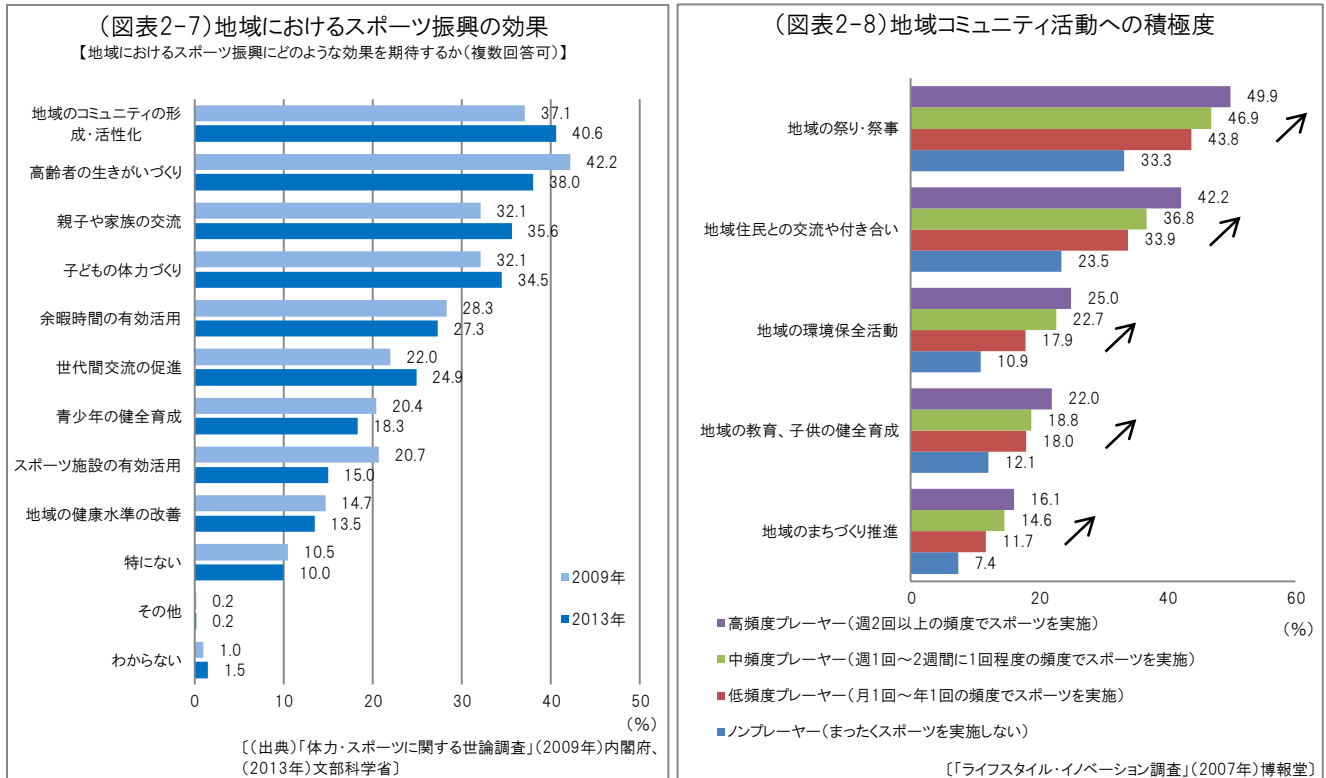
※5 文部科学省委託事業「健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業(2013 年 地域における障害者のスポーツ・レクリエーション活動に関する調査研究)

【地域コミュニティの再生】

・核家族化や単身世帯の増加にともない、地域の人間関係が希薄になり、近所づきあい、相互扶助といった地域のコミュニティ機能が低下しています。

・「体力・スポーツに関する世論調査」によると、地域スポーツにおけるスポーツ振興の効果として、「地域コミュニティの形成・活性化」がもっとも期待されています。

・民間の調査※6では、「スポーツをプレイする人ほど地域コミュニティ活動に積極的」との結果が出ており、スポーツを通じた交流が、地域コミュニティの再生につながるものとして期待されています。



【連続する世界大会の開催】

・2018年の世界女子ソフトボール選手権を皮切りに、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックと連続した国際大会の日本開催が決定しています。開催後も続くレガシーとして国際交流や観光、都市づくりなど様々な分野の政策と連動した施策が展開されていくことが期待されています。

・国際大会の開催は、市民のスポーツ活動参加への機運を高めるなど、スポーツ文化の醸成に大きな影響を与えるものと考えられます。

※6 「ライフスタイル・イノベーション調査」(2007年 博報堂)

3 国・県の動向

【国の動向】

国は、1961年に制定されたスポーツ振興法に基づき、国民の心身の健全な発達と明るく豊かな国民生活の形成に寄与することを目的に、スポーツの振興・発展を図ってきました。

2000年9月には、国のスポーツ振興の指針となる「スポーツ振興基本計画」を策定し、概ね10年間で実現すべき政策目標を達成するために必要な施策を位置づけ、21世紀における明るく豊かで活力のある社会の実現、成人の週1回以上のスポーツの実施率50%以上を目指し、施策の推進に努めました。

2010年8月には「新たなスポーツ文化の確立」を目指す姿として、「する人・観る人・支える(育てる)人の重視」、「連携・協働の推進」を基本的な考え方とした「スポーツ立国戦略」を策定しました。

2011年8月にスポーツ振興法が全面改正され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利」と明記し、スポーツ立国の実現を国家戦略として位置づけた「スポーツ基本法」が施行されました。

2012年3月には、スポーツ基本法の理念を具現化し、今後のスポーツ施策の具体的な方向性を示すものとして、「スポーツ基本計画」を策定し、成人の週1回以上のスポーツ実施率65%程度を目指し、これからの10年間を見通したスポーツ推進の基本的方針を設けました。

2015年10月には、「スポーツ庁」が設置され、これまで複数の府省庁で行っていたスポーツ関連業務や権限が一元化されました。

【県の動向】

2012年3月に、国のスポーツ基本法の趣旨や、2010年12月に制定された「千葉県体育・スポーツ振興条例」に基づき、「すべての県民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動を分かち合いながら健康で活力ある生活を送り、互いに支え合う県民の姿」である「スポーツ立県ちば」の実現を目指し、「第11次千葉県体育・スポーツ推進計画」が策定されました。

4 本市のスポーツ環境の現状

本計画の策定にあたり、前計画の評価及び市民のスポーツ活動の実態、スポーツへの意識を把握するため、「市民意識調査」(2015年8月)・「(仮称)市原市スポーツ振興マスタープランアンケート調査」(2015年11月)を実施しました。このアンケート結果に加えて、現在市内で展開されているスポーツ関連事業や体育施設の状況などを整理し、本市のスポーツ環境の現状をまとめました。

【スポーツによる健康づくり】

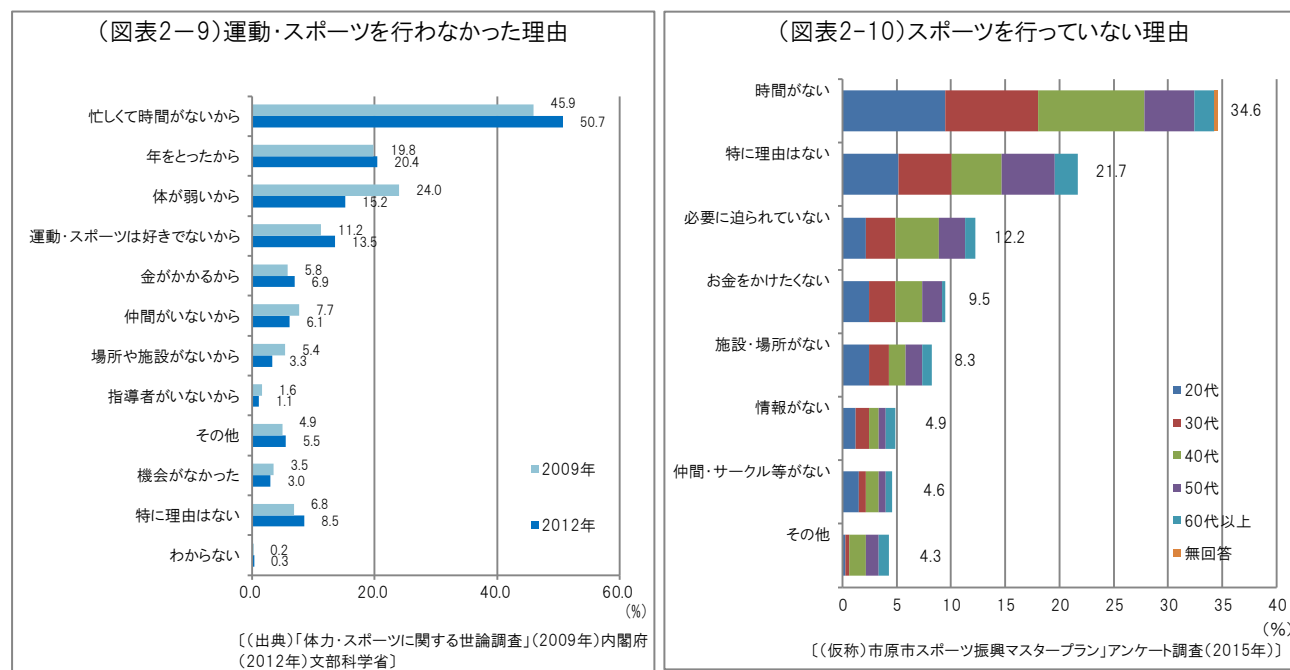
・前計画では、「成人の週1回以上のスポーツ実施率50%」を挑戦指標として目指していましたが、2015年度は46.1%となり、計画策定時の43.3%と比較して、2.8ポイント上昇していますが、目標の達成にはいたりませんでした。

・本市ではスポーツを行っていない理由として「時間がない」(34.6%)がもっとも多くなっており、国の調査と同様の結果となっています。次いで、「特に理由はない」(21.7%)、「必要に迫られていない」(12.2%)となっており、スポーツに関心のない層が多いことがわかります。

・ライフステージに応じた施策において、健康づくりのために誰でも気軽にできるニュースポーツ用具※7の貸し出し件数が増加しています。(2013年度221件→2015年度246件)

・「健康いちばら21」のアンケート調査(2015年9月)の結果では、30歳代・40歳代は運動習慣のない人の割合が高く、1日に歩く時間が「20分未満」の人の割合が30歳代では男女ともに約4割と高くなっています。

・スポーツには、体力向上・健康の保持増進のほか、医療費の削減も期待されることから、ライフステージに応じ、多くの人がスポーツに親しむ機会の提供が必要となっています。



※7 ニュースポーツ…「いつでも」「どこでも」「だれでも」できるレクリエーション性の高いスポーツ。技術やルールが簡単で、適度な運動量を備えている。

【スポーツによる子どもの体力向上】

・2016年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果を見ると、本市の体力合計点は、おおむね全国平均を上回っていますが、千葉県平均より下回っています。種目別では、握力・ボール投げが小学生・中学生の男女とも全国平均を下回っています。

・子どもにとってスポーツは、生涯にわたってたくましく生きるための健康や体力の基礎を培うとともに、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培うなど人間形成に重要な役割を果たすものであります。

また、子どもの体力は生涯にわたって充実した生活を送るために必要な「生きる力」の基礎となる重要な要素であることから、すべての子どもがスポーツを楽しむことができるような取組が必要です。

(図表 2-11) 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」平均値一覧

2016年		▼は全国平均を下回るもの									
学年	区分	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフト・ハンド ボール投げ (cm)	持久走 1000m (秒)	体力 合計点
5年男子	全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	—	53.92
	県	16.41	20.51	33.49	43.12	54.83	9.29	153.86	21.45	—	55.04
	市 ▼	16.23	20.66	32.88	43.05	52.47	▼ 9.43	152.26	▼ 20.14	—	54.15
5年女子	全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	—	55.54
	県	16.08	19.72	38.02	41.16	44.78	9.51	148.00	13.43	—	57.01
	市 ▼	15.87	20.25	▼ 37.04	41.45	44.16	9.60	147.06	▼ 12.99	—	56.58
2年男子 (中学)	全国	28.91	27.46	43.06	51.93	86.24	8.03	194.69	20.59	391.72	42.13
	県	28.91	28.61	46.54	52.62	88.17	7.87	196.70	20.56	385.27	44.35
	市 ▼	27.54	28.27	43.41	51.98	▼ 85.34	7.92	▼ 191.59	▼ 19.09	▼ 407.68	▼ 41.97
2年女子 (中学)	全国	23.75	23.48	45.46	46.60	58.80	8.83	168.28	12.85	288.51	49.56
	県	24.10	25.03	48.38	47.19	62.35	8.63	172.01	12.91	281.85	52.42
	市 ▼	23.08	25.35	46.01	47.28	62.35	8.64	169.21	▼ 11.97	▼ 288.67	50.86

[出典「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2016年)スポーツ庁]



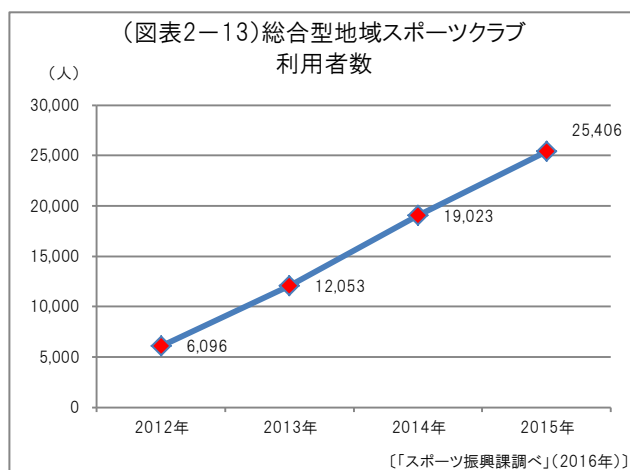
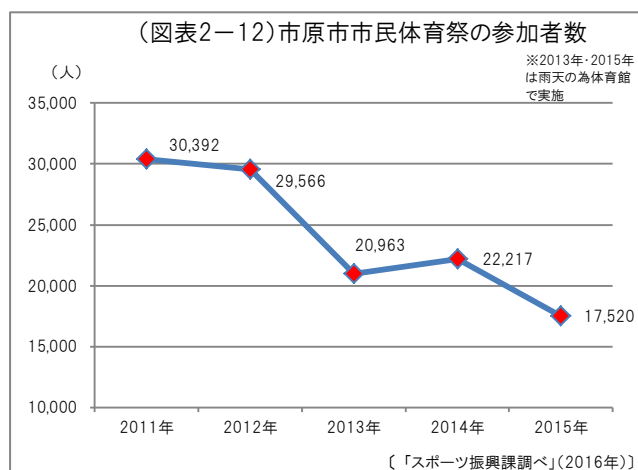
【飛燕杯市原市中学校野球大会】

【地域におけるスポーツ振興】

・地域におけるスポーツ推進活動はスポーツ推進委員が主体となり、市民のスポーツを行うきっかけづくりや、地域コミュニティの活性化に寄与することを目的に「体育の日行事」として「市民体育祭」を開催しています。近年は、参加者が減少傾向にあり、地域の実情に合わせた競技内容や運営方法の改善などが求められています。

・学校体育施設を開放し、市民が日常的にスポーツに親しむことができる環境を提供する学校体育施設開放事業は、全ての市立小・中学校で実施しており、多くの市民が利用しています。

・市内には4つの総合型地域スポーツクラブ^{※8}があり、全体での利用者数は増加しているものの、クラブの安定的、継続的な自主運営に向けた課題も顕在化しており、今後はクラブの量的拡大に重点を置いた施策から、質的な充実に重点を置いた施策が求められています。



※8 総合型地域スポーツクラブ・・・多種目、多世代、多志向で、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ(文部科学省)

【市原らしいスポーツ振興】

・本市には、市原緑地運動公園や市原スポレクパーク、ゼットエー武道場などの充実したスポーツ施設、日本一のゴルフ場数、豊かな自然、Jリーグのホームタウンといった恵まれたスポーツ・レクリエーション環境があり、様々なスポーツ・レクリエーションに親しむことができます。

・市民意識調査の結果では、「活用すべきだと思う市原市の魅力」の中で、関東一紅葉が遅い「養老渓谷」などの豊かな自然との回答が最も多くなっており、この環境を活用したイベントとして、ハイキングやマラソン大会が開催されています。このほか、近年では、トレイルランニング^{※9}といった新しいスポーツも根付きつつあります。

・日本一のゴルフ場数を誇る本市では、日本プロゴルフ協会と連携し、ゴルフを始めるきっかけづくりとして市原市ジュニアゴルフ教室を開催しています。教室参加者へのアンケート結果では「今後もゴルフを続けて行きたい・ゴルフ教室があった場合は参加したい」との意見が9割あり、その後もゴルフに親しんでいける環境づくりが求められています。

・「ジェフユナイテッド市原・千葉」や「千葉ロッテマリーンズ」と連携したホームタウンとしての優位性を活用した施策には多くの参加(2015年:12,714人)がありますが、小学生以下を対象とした事業が多いことから、今後、多くの市民が親しめるような事業展開が求められています。

・これらの資源の活用は、交流人口の増加や地域経済の活性化といった好循環を生み出す可能性があることから、効果的な活用が求められています。

【競技スポーツの振興】

・競技スポーツは、主に公益財団法人市原市体育協会(以下「体育協会」という。)及び各加盟団体により推進され、市民体育大会や各競技大会などが開催されています。2015年度の市民体育大会には、33競技18,565人が参加し、千葉県民体育大会へも31競技510人が派遣されました。市では、選手の育成、競技力の向上に向け、体育協会をはじめとした地域の指導者等の活動支援に取り組んでいます。

・県や市の表彰制度を活用して、顕著な成績を残したアスリートを広く周知することで、市民のスポーツへの関心を高めるきっかけづくりを行っています。

・本市では、全日本大学サッカー選手権大会、全国高等学校サッカー選手権大会などの全国規模の大会や、プロ野球イースタンリーグ、関東サッカーリーグなどトップレベルの試合が開催されています。これらの観戦を通じて市民がスポーツ活動の裾野を広げる機会となっています。

※9 トレイルランニング・・・森や山中、自然公園など未舗装の山道を走るスポーツ

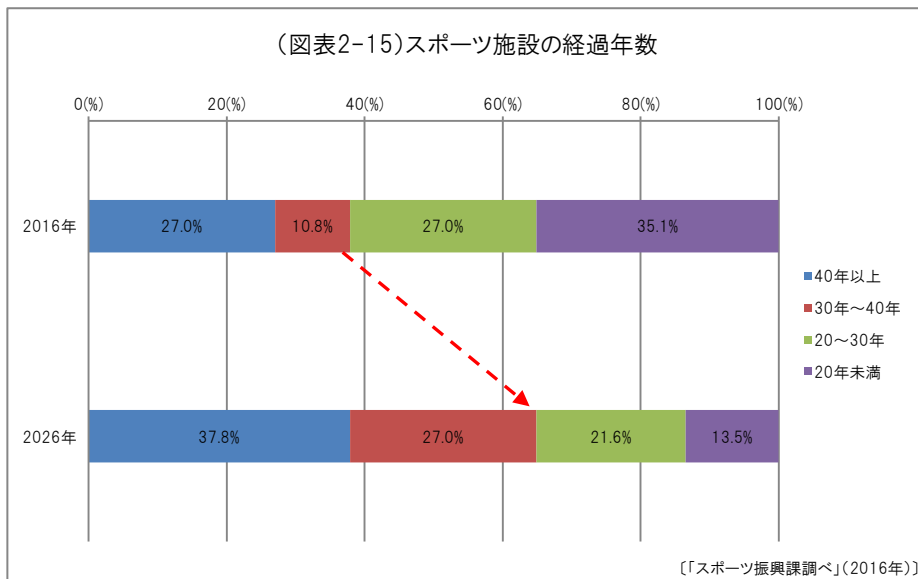
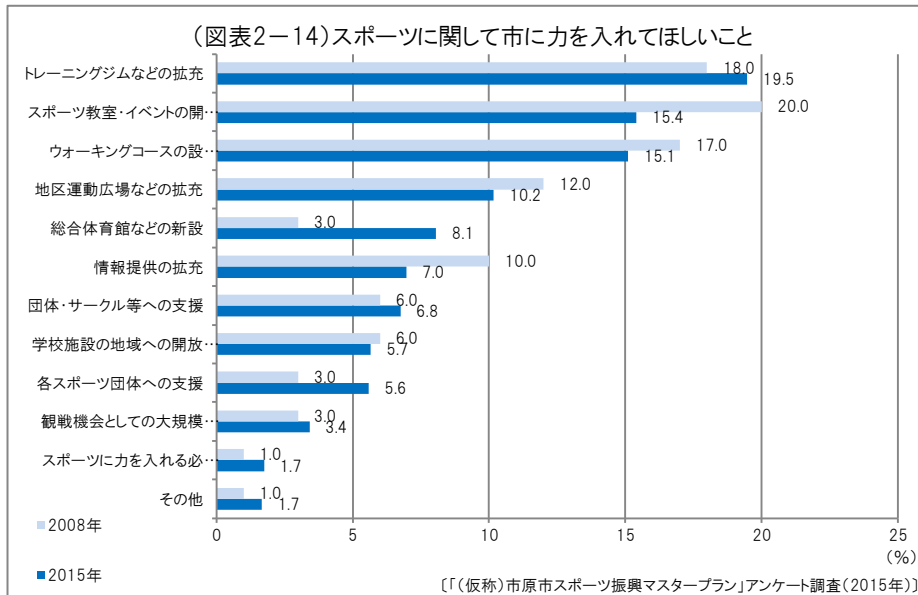
【スポーツ環境の整備】

・市民の健康増進のため、体育協会との連携によりスポーツ教室等を開催しています。スポーツ教室やイベントの開催などソフト面に対する市民の要望もあることから、引き続き市民ニーズ等を踏まえた取組が求められています。

・「トレーニングジムなどの拡充」(19.5%)や「総合体育館などの新設」(8.1%)といった施設への要望が増加しており、市民の健康意識の高まりや施設の拡充・老朽化への対応が求められています。

・現在、約40%のスポーツ施設が建設後30年を経過しており、10年後には建設後30年を経過するスポーツ施設が約65%に増加します。しかし、本市を取り巻く情勢を踏まえると既存施設の有効活用や長寿命化などを視野に入れた改修計画等の検討も必要です。

・大学との包括協定の締結により、スポーツ分野の連携で地域社会の交流などによる発展と人材の育成が期待されています。



5 今後の施策に反映させる課題の整理

以上の社会状況の変化や本市をとりまくスポーツ環境の現状を踏まえて、今後の施策に反映させるべきと考えられる課題を以下のように整理しました。

◇ 市民のスポーツへの関心や意欲は高くなっていますが、本市の成人の週1回以上のスポーツ実施率は目標を下回っています。スポーツには、体力向上・健康の保持増進のほか、医療費の削減も期待されることから、より一層スポーツ実施率の向上が必要です。

子どもの頃からのスポーツへの取組は、成人のスポーツ実施率の土台となるため、子どものスポーツの機会の充実に努め、学校や地域において、すべての子どもがスポーツを楽しむことができる機会を創出する必要があります。

また、20～40歳代のスポーツ実施率が低いことから、青年期・壮年期を対象とした取組の拡充を図るとともに、すべての年代において、各ライフステージに応じたスポーツ機会の提供や気軽に参加できるスポーツイベントの開催など、様々な施策を展開する必要があります。

◇ 2016年のリオパラリンピックでの本市にゆかりのある選手の活躍により、パラスポーツへの関心が高まっています。障がい者だけでなく、子どもから高齢者まで気軽に親しむことのできるユニバーサルスポーツの普及・促進に取り組む必要があります。

◇ アスリートの活躍は、市民に夢と感動を与え、スポーツへの関心を高めるなど、様々な効果が期待できることから、体育協会や各加盟団体と連携した競技力の向上や競技人口の拡大を図ることが必要です。

◇ 本市のスポーツ施設は、約40%の施設が建設後30年を経過しており、10年後には約65%に増加します。人口減少や財政状況など本市を取り巻く情勢を踏まえ、必要性や緊急度等を十分勘案する中で、計画的な整備が必要です。

また、施設のトイレなど今日では、市民ニーズに適していないものがあるため、市民ニーズに対応した整備も求められています。

◇ 本市は充実したスポーツ施設や日本一を誇るゴルフ場数、自然に恵まれた里山などスポーツを楽しむ環境に恵まれています。これらの資源を効果的に活用し、国際大会や全国大会のほか、だれもが参加したくなるスポーツイベント等を誘致・開催することにより、地域の活性化につなげていくことも重要です。

◇ 本市では、2018年にゼットエーボールパークにおいて世界女子ソフトボール選手権が開催されます。さらには、2019年ラグビーワールドカップや2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催など、こうした国際大会が連続する絶好の機会を捉え、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、本市の資源を最大限活用し、市原ならではのレガシーの創出やまちづくりにつながる施策を展開していく必要があります。

第3章 計画の基本的な考え方

1 計画の基本理念

本計画の基本理念は次のとおりとします。

市原市総合計画

<基本理念>

「**変革と創造**」で
新たな未来を切り拓くまちづくり

<都市像>

夢つなぎ ひときらめく
未来創造都市 いちはら
～ひとの活躍が新たな誇りを創るまちへ～

市原市教育大綱

<基本理念>

未来へつなぐ いちはらの教育

「ひとと地域のががやきが育む いちはらのスポーツ文化」

市原市総合計画は、「**夢つなぎ ひときらめく 未来創造都市 いちはら**」を将来都市像とし、「子どもたちの輝き・若者の夢・いちはらの文化を育むまちへ」を2026年いちはらの姿としており、「誰もがいちはらの文化やスポーツに親しみ、支え、交流するまち」を目指しています。

また、市原市教育大綱では、「**未来へつなぐ いちはらの教育**」を基本理念に「多彩な地域資源を活用したスポーツの推進、歴史・文化・芸術の振興」を基本目標としています。

これらの目指すべき姿の実現には、これまで以上に各種施策を積極的に展開していただくだけでなく、一つ一つの施策が関連性を持って、相乗効果を生み出していくことが重要です。

このため、スポーツを通じて健康で活力にあふれる「ひとの力」を育むとともに、豊かな自然や充実したスポーツ施設などの資源とスポーツに関わる人材などの本市の持つ「地域の力」をさらに醸成し、様々な主体との連携を推進することで、スポーツから本市の魅力を高めます。これらの取組を通じ、市民がいちはらに愛着と誇りを持ち、スポーツが日々の生活の一部となるよう、本計画の基本理念を「ひとと地域のががやきが育む いちはらのスポーツ文化」とし、本市のスポーツを推進していきます。

2 計画の基本方針

計画の基本理念の実現に向け、本市を取り巻くスポーツ環境の現状や課題を踏まえて、計画の基本方針を次のように定めます。

基本方針 1: ライフステージに応じたスポーツの推進

健康の保持・増進にスポーツは重要な役割を果たします。人々のライフステージに応じたスポーツ活動は、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むために不可欠なものといえます。

また、これからのまちづくりにおいて最も大切な力は「ひとの力」であることから、その土台となる「ひとの健康」づくりのため、スポーツを通じた取組が重要となります。

このことから、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、障がいの有無に関わらず、技術、興味・目的に応じてスポーツを日常的に親しみ・楽しむことで、心のバリアフリーや共生社会が実現するように、ライフステージに応じたスポーツの機会や市民のニーズに合った情報を積極的に提供します。併せて、身近なところで気軽に利用できるスポーツ施設の提供などに取り組み、健康で活力にあふれるまちを目指します。

基本方針 2: 地域の力を活かしたスポーツの推進

本市には、充実したスポーツ施設、日本一のゴルフ場数、自然に恵まれた里山、プロスポーツチームのホームタウンといったスポーツに親しむことができるすばらしい環境があります。また、体育協会やその加盟団体、スポーツ推進委員など現在もスポーツを支える多くの人や団体が活動しています。

これらの「地域の力」は、市民の生涯にわたる自主的・主体的なスポーツ活動の実施や多様化するニーズへ対応する大きな推進力となります。

このことから、本市の特色あるスポーツ環境でのスポーツイベントの開催、スポーツを支える団体への支援や人材の育成などにより、さらに「地域の力」の醸成を図ります。

基本方針 3: 交流と連携によるスポーツの推進

スポーツと健康・福祉・教育・観光等の様々な分野が連携することにより、スポーツの持つ多面的な効果の高まりと新たな価値を生み出します。

国際大会・全国的なスポーツ大会の誘致・開催は、市民のスポーツに対する関心・意識の高まりや地域への愛着と誇りの醸成につながるとともに、交流人口の拡大や本市の知名度・イメージアップにもつながります。

さらに、2020年東京オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地誘致やホストタウン制度などを活用した取組により、本市とゆかりのある国とのスポーツを通じた国際交流の推進やその後のレガシーの創出が期待できます。

このことから、スポーツをまちづくりや地域づくりのツールのひとつと捉え、様々な分野との交流・連携により、スポーツからいちはらの魅力を高める施策に取り組みます。

3 計画の挑戦指標

本計画の基本理念の実現に向け、挑戦指標として数値目標を設定します。

なお、本目標は、国・県の計画を踏まえながら、市原市総合計画や2020年東京オリンピック・パラリンピックなどの国際大会を契機として、スポーツ施策を推進することにより、市民が日々スポーツに親しみ、スポーツがいちはらの文化となるよう挑戦指標として高い目標を掲げるものです。

【挑戦指標】

目標名	概要	現在値	挑戦指標
成人の週1回以上のスポーツ・レクリエーションの実施率	週1回以上スポーツ・レクリエーションを行う成人の割合が、65%以上になることを目指します。	46.1% (2016年2月時点)	65%
年1回以上のスポーツ観戦率	年1回以上実際にスポーツ観戦をする人の割合が、50%以上になることを目指します。	31.5% (2017年3月時点)	50%
スポーツボランティアを行っている人の割合	スポーツボランティアを行っている人の割合を増やします。	6.4% (2017年3月時点)	10%

市原市総合計画<基本理念> 「変革と創造」で新たな未来を切り拓くまちづくり
 市原市教育大綱<基本理念> 未来へつなぐ いちはらの教育

市原市スポーツ推進計画<基本理念> ひとと地域のががやきが育む いちはらのスポーツ文化

基本方針 1: ライフステージに応じたスポーツの推進

【基本施策】

- 1 子どものスポーツ機会の充実
- 2 スポーツを通じた健康づくり
- 3 障がい者スポーツの普及と促進
- 4 スポーツ情報の提供の充実
- 5 スポーツに親しむ環境の提供

基本方針 2: 地域の力を活かしたスポーツの推進

【基本施策】

- 1 豊かな地域資源を活かしたスポーツの推進
- 2 地域でのスポーツ活動の充実
- 3 スポーツを支える団体の支援と人材の育成
- 4 競技スポーツの支援

基本方針 3: 交流と連携によるスポーツの推進

【基本施策】

- 1 大学との連携によるスポーツの活性化
- 2 スポーツを通じた広域連携の促進
- 3 スポーツツーリズム等を活用した地域活性化
- 4 2020年東京オリンピック・パラリンピック等を活用したスポーツ交流の推進


主
な
取
組

第 4 章 計画推進のための施策

本計画の推進のため、基本施策ごとに「主な取組」により、施策の展開を図ります。

施策の展開にあたっては、それぞれの「主な取組」の中に「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」の視点を持ち、市民のスポーツへの関わりを示します。

【記載例】

主な取組	取組の概要	視点
<p>＜取組名＞</p> <p>2020 年東京オリンピック・パラリンピック等推進事業</p> <p>【新規】(総合計画推進課)</p>	<p>＜取組の概要を記載しています＞</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック等の国際大会開催を契機に、スポーツの普及促進、本市の魅力発信による人の呼び込み、多様性を尊重する共生社会の推進、将来の市原を担う人づくりを進め、活力あるまちづくりを推進します。</p>	

主な取組の視点



「するスポーツ」の視点を示しています。



「みるスポーツ」の視点を示しています。



「ささえるスポーツ」の視点を示しています。

1 【基本方針:1】ライフステージに応じたスポーツの推進

1-1 子どものスポーツ機会の充実

「幼・少年期」は、生涯にわたる運動全般の基本的な動きや多様な動きを身に付けやすく、運動習慣の定着に重要な時期であることから、遊びを通じて体を動かす機会を確保します。

また、学校における体育の授業や部活動などのスポーツ活動の充実を図るとともに、地域や家庭と連携し、スポーツにふれる機会を創出することにより、小・中学生の運動習慣の確保と体力の向上を図ります。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
市原市ジュニアゴルフ教室 【拡充】(スポーツ振興課)	PGA との連携によりプロゴルファーによる、ゴルフ未経験の小・中学生にクラブの握り方やスイングの仕方、ゴルフコースに出てゴルフの楽しさやマナーを伝え、子どもたちの健全育成とゴルフの振興を図ります。	 
ジェフィと遊ぼう！サッカーひよこ隊 【拡充】(スポーツ振興課)	ジェフユナイテッド市原・千葉のマスコットキャラクターが幼稚園・保育所・認定子ども園を訪問し、子どもたちと一緒に踊りやボール遊びを行います。	 
サッカーひよこ塾 (スポーツ振興課)	4歳から小学4年生までの親子を対象に、ジェフレディース選手と一緒に運動やボール遊びを行います。	 
ジェフユナイテッド市原・千葉 スポーツ体験教室 (スポーツ振興課)	ジェフユナイテッド市原・千葉のコーチが幼稚園・保育所・認定子ども園・小学校を訪問し、子どもたちと一緒にボール遊びなどを行います。	 
千葉ロッテマリーンズ 野球&ダンス体験教室 (スポーツ振興課)	千葉ロッテマリーンズのコーチとダンスチームが幼稚園・保育所・認定子ども園・小学校を訪問し、子どもたちと一緒に野球とダンスなどを行います。	 
市原市健康マラソン・駅伝大会 (スポーツ振興課)	マラソン・駅伝を通して、走ることの楽しさや達成感を仲間と共有するとともに、日頃のスポーツに対する取組の成果を確認し、スポーツの日常化、健康増進、体力向上を図るためマラソン・駅伝大会を開催します。	 
園庭開放の活用 (幼稚園・保育所・認定子ども園)	公立幼稚園・保育所・認定子ども園の園庭を開放し、安全な遊び場やふれあいの場を未就園の園・幼児や保護者に提供します。	 

主な取組	取組の概要	視点
幼児期の運動に関する普及啓発 (幼稚園・保育所・認定子ども園)	「幼児期の運動に関する指導参考資料」を活用し幼児期の運動促進を図ります。	
ホームタウンふれあいフェスタ (スポーツ振興課)	ジェフユナイテッド市原・千葉のトップチームの選手と子どもたちとの、サッカーを通じた運動やふれあいの場を提供します。	
いちはらっこふれあいパスポートの配付 (スポーツ振興課)	ジェフユナイテッド市原・千葉と千葉ロッテマリーンズの試合観戦機会を提供するため、市内小中学生に優待価格等で観戦できるパスポートを配付します。	
飛燕杯市原市中学校野球大会 (スポーツ振興課)	野球を通して、「感謝」「尊敬」「礼儀」の心を育み、健全な心身の育成を図ります。	
市原ちびっこ武道大会の開催 (スポーツ振興課)	武道大会を通して武道競技の底辺拡大と競技力の向上を図り、併せて児童の健全育成を図ります。	
運動部活動民間指導者派遣事業 (指導課)	市内公立中学校の運動部活動の振興を図るため、専門的な指導力を備えた指導者を必要とする中学校に対して、民間の指導者を派遣して運動部活動の充実を図ります。	
全国体力・運動能力、運動習慣等調査の活用 (指導課・小・中学校)	全国・県の平均値と本市の子どもの体力・運動能力等を把握し、その分析結果を周知し、成果と課題を検証して体育・保健体育の授業等の改善に役立てます。	
体育大会選手派遣費の補助 (指導課)	市内小中学校の体育振興を図り、児童・生徒の体力向上と健全な精神を養うため、大会参加に係る費用の一部を助成します。	
教室・講習会等の開催事業 (体育協会)	日常生活の中でスポーツに取り組み始めるきっかけや継続的にスポーツに親しむ機会を提供する教室や講習会等を開催します。	
各種スポーツ・レクリエーション大会開催及び支援事業 (体育協会)	スポーツ等の普及・振興を目的とし、体育協会や加盟団体が主催する各種競技会等の開催や支援を行います。	







1-2 スポーツを通じた健康づくり

「青・壮年期」では就職、結婚、育児等による生活様式や社会環境の変化から、スポーツ活動を行う時間の確保が難しい時期であり、生活習慣病やメタボリック症候群なども懸念される時期でもあるため、個人の体力や生活のリズムに合わせ、気軽に取り組むことのできるスポーツ機会を提供し、スポーツ活動の定着化、日常化に取り組めます。

「高齢期」では、いつまでも元気な生活をおくることができる健康寿命の延伸のため、生活習慣病や寝たきりの予防、生きがいつくりや仲間づくりなど様々な観点からスポーツの推進を図り、高齢者のだれもが無理なく楽しめる運動プログラムや健康教室・体力づくり等の充実に取り組めます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
いちはらポイント制度 【新規】(総合計画推進課)	運動、感動、運動に関連した活動に対し、ポイントを付与することで、社会参加を促進し、ふれ合いや支え合いによる絆の醸成、健康増進、生きがいつくりなど、住民の持続的で自主的な活動を支援します。	
ニュースポーツ用具の貸出 【拡充】(スポーツ振興課)	ニュースポーツに関する情報発信や用具の充実を図り、いつでも・どこでも・だれでもできるニュースポーツの普及に努めます。	
市原市健康マラソン・駅伝大会 (スポーツ振興課)【再掲】	マラソン・駅伝を通して、走ることの楽しさや達成感を仲間と共有するとともに、日頃のスポーツに対する取組の成果を確認し、スポーツの日常化、健康増進、体力向上を図るためマラソン・駅伝大会を開催します。	
産後のボディケア&フィットネス (子ども福祉課)	運動習慣の少ない若い世代に対し、運動の動機付けをすることで、自分自身の健康づくりや家族の健康を考える市民の増加を図ります。	
高齢者健康体操普及員派遣事業 (高齢者支援課)	高齢者が寝たきりになることなく、元気に日常生活を送ることができるように、「市原いいあんばい体操」や高齢者向けの簡単な筋力トレーニング等を普及します。	
いちはら筋金近トレ体操 (高齢者支援課)	住民主体の集いの場において、高齢者が定期的に体操することで、元気にできるだけ最後まで住みなれた地域で生活を営めることを目的に、地域で継続して体操ができるように支援します。	

主な取組	取組の概要	視点
いちほら市民大学 (生涯学習センター)	地域で活動している軽スポーツの団体と連携し、様々な体験の場を提供することで、参加者の生きがいづくりを行います。	 
教室・講習会等の開催事業 (体育協会)【再掲】	日常生活の中でスポーツに取り組み始めるきっかけや継続的にスポーツに親しむ機会を提供する教室や講習会等を開催します。	 
各種スポーツ・レクリエーション大会開催及び支援事業 (体育協会)【再掲】	スポーツ等の普及・振興を目的とし、各種競技会等の開催や加盟団体が主催する各種競技会等の開催や支援を行います。	 



コラム (いちほら健幸まちづくりプラン)

<ライフステージに応じた健康づくりの推進>

◆すくすくステージ(0歳～17歳・妊娠期を含む) ～芽生えた若葉を育もう～

【めざす姿】すべての子どもが夢を持ち、地域の中で自分らしく、健やかに成長できる

◆はつらつステージ(18歳～64歳) ～色とりどりの花を咲かせよう～

【めざす姿】日々の忙しい生活の中でも、地域とつながりを持ちながら、充実した毎日を過ごすことができる

◆いきいきステージ(65歳以上) ～それぞれの実りを楽しもう～

【めざす姿】地域とつながり、いきいきと自分らしく過ごすことができる








1-3 障がい者スポーツの普及と促進

障がいのある人にとってスポーツは健康維持やリハビリテーションに役立つとともに、自立と社会参加の促進に大きく貢献するなど、重要な役割を果たしています。

今後も、障がい者が、それぞれの状況に応じてスポーツを楽しむことができるよう、障がい者のスポーツ活動を支援するとともに、スポーツに取り組む機会の充実に努めます。

また、障がいの有無に関わらず誰もが一緒にスポーツに親しみ、気軽に交流ができる環境づくりに努めます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
ユニバーサルスポーツの普及事業 【新規】(スポーツ振興課)	誰もが楽しめるユニバーサルスポーツ用具を揃え、大会や講習会などを開催して、ユニバーサルスポーツの普及を図ります。	
障がい者スポーツ大会・合宿誘致 【新規】(スポーツ振興課)	障がい者団体が開催する大会・合宿の誘致を行い、障がい者スポーツの場の拡充に努めます。	
パラスポーツ交流フェスタ事業 【新規】(障がい者支援課)	障がいのある人とない人がスポーツを通じて交流することにより、相互の理解が深まることを目指します。	
市原市障がい者スポーツ大会 (障がい者支援課)	市内障がい者がスポーツを通じて、体力の維持増強を図り、社会参加の促進を目指します。	
交流ハイキング (障がい者支援課)	市内障がい者と健常者がハイキングを通して、語り合い、助け合い交流を深める機会を提供します。	



【市原市障がい者スポーツ大会】







【市原市交流ポッチャ大会】

1-4 スポーツ情報の提供の充実

スポーツへの関わりが多様化する中で、求められる情報も多岐に渡っています。そのため、運動施設の情報からスポーツ教室やイベント、サークル活動など、幅広く効果的な情報の提供により、積極的な市民のスポーツ活動につなげます。

本市出身の選手や本市にゆかりのあるトップレベルのスポーツ選手・団体、本市をホームタウンとするプロスポーツチームの情報を発信し、市民のスポーツに対する関心を高めます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
スポーツ大会の情報発信 【拡充】(スポーツ振興課)	本市で開催される大会の情報や、本市ゆかりの選手の 情報発信ができるように、ホームページの充実などを図り ます。	
スポーツ・イベントスケジュール作成及 び配布 【拡充】(スポーツ振興課)	市及び体育協会等が実施しているスポーツ・イベントのス ケジュール表を作成し、町会回覧や公共施設等での配 布を行います。	
いちはら健康大使推進事業 (保健センター)	市民との協働による健康なまちづくりをめざし、健康につ いて学び、健康づくりを地域へ広め活動を実践する「いち はら健康大使」を育成、任命し、それぞれの活動の支援 を行うことで、地域全体の健康づくりを推進します。	
ホームページによる情報発信 (体育協会)	インターネットを通じて、大会・イベント・教室等のスポー ツ・レクリエーションに関する各種情報を発信します。	

1-5 スポーツに親しむ環境の提供




本市には充実した多くのスポーツ施設があります。市民の誰もが、安心して気軽に体を動かし、スポーツに親しむことができる環境を提供します。

(1) スポーツ施設の整備

本市のスポーツ施設は、建設後30年を経過している施設が全体の約40%を占めており、人口減少や財政状況など本市を取り巻く情勢を踏まえ、必要性や緊急度等を十分勘案し、計画的に整備していくとともに、市民ニーズや時代のニーズに合わせた整備に取り組みます。

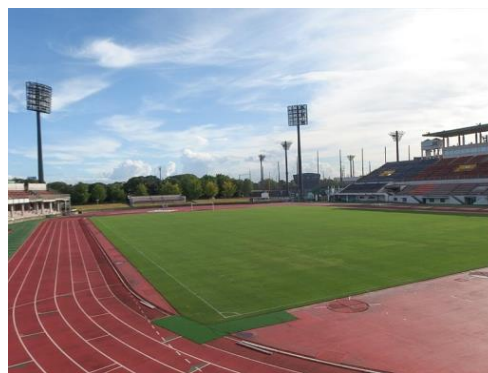
<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
市原スポレクパーク機能向上事業 【新規】(スポーツ振興課)	施設の整備により、利用者の利便性向上や安全性の確保を図り、併せて国際大会の事前キャンプや合宿、各種大会を積極的に誘致・開催し、交流人口の拡大につなげます。	
スポーツ施設改修事業 【新規】(スポーツ振興課)	スポーツ施設の健全度調査を行い、調査結果及び公共施設再配置基本方針等を踏まえて、スポーツ施設改修計画を作成します。	
地区運動広場トイレ水洗化事業 【新規】(スポーツ振興課)	地区運動広場のトイレの水洗化などにより、地域のスポーツ施設の充実を図ります。	
ゼットオーオリプスタジアム (臨海競技場)改修事業 【新規】(公園緑地課)	公認陸上競技場として公認を継続していくため(2018年度に公認期限)、(公財)日本陸上競技連盟の事前指導に基づき、施設を改修します。	
ゼットオーボールパーク (臨海球場)改修事業 【新規】(公園緑地課)	2018年の世界女子ソフトボール選手権の開催に伴い、試合会場であるゼットオーボールパークのスコアボードやトイレを改修します。	
運動施設リフレッシュ事業 (公園緑地課)	市原市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した都市公園内の運動施設を計画的に改築・更新します。	
公園遊具リフレッシュ事業 (公園緑地課)	市原市公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した都市公園遊具を更新します。	

主な取組	取組の概要	視点
有料運動施設改修事業 (公園緑地課)	市原市公園施設長寿命化計画に位置付けがない都市公園内の有料運動施設のうち、管理運営に支障をきたす恐れのある施設について改修します。	
非構造部材耐震対策事業 (教育施設課)	小学校屋内運動場等および中学校武道場・屋内運動場の大規模空間において、落下の恐れのある非構造部材(吊り天井、バスケットゴール、照明器具等)の耐震化(設計及び工事)を実施します。	
小・中学校水銀灯LED化事業 (教育施設課)	屋内運動場等に設置された水銀灯をLED照明器具へ改修します。	



【ゼットエーボールパーク】






【ゼットエーオリプリスタジアム】

(2)スポーツ施設等の維持管理

老朽化した施設の改修や適切な保守点検など、効率的・効果的な施設の維持管理に取り組みます。



<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
体育施設の管理・運営 (スポーツ振興課)	スポーツ・レクリエーション活動の中核として機能する体育施設を適切に管理・運営し、スポーツに親しむ環境の提供に努めます。	
ふれあいサンクチュアリ等の施設管理 (環境管理課)	梅ヶ瀬溪谷自然環境保全地域及び大福山北部自然環境保全地域の既存の自然歩道の維持管理を行います。	
養老川自然歩道の施設管理 (環境管理課)	自然や文化に触れながら、豊かな心と健康を保持することを目的とする養老川自然歩道の維持管理を行います。	

(3)指定管理者制度の活用

スポーツ施設が適切に管理、運営されるよう、引き続き、指定管理者制度を活用するとともに、指定管理者と連携し市民ニーズにあった施設の管理・運営に努めます。


<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
指定管理者制度の活用 (スポーツ振興課)	スポーツ施設が適切に管理・運営されるよう、指定管理者制度を活用するとともに、指定管理者と連携し市民ニーズにあった施設の管理・運営に努めます。	
体育・運動施設の貸出 (生涯学習課・市民活動支援課 等)	公民館・コミュニティセンター・保健福祉センター等の体育施設の貸し出しを行い、スポーツ活動に親しむ環境を提供します。	

(4)学校体育施設の活用

市民のスポーツニーズの多様化に伴う施設利用の需要に対応し、市民が気軽にスポーツに親しむことができるよう、学校の体育施設の開放を推進します。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
学校体育施設開放事業 (スポーツ振興課)	身近な場所にある市内の公立小・中学校の体育施設を開放し、市民の日常における体力づくりや健康増進を図ります。	

2 【基本方針:2】地域の力を活かしたスポーツの推進


2-1 豊かな地域資源を活かしたスポーツの推進

本市には、充実したスポーツ施設、日本一を誇るゴルフ場数、豊かな自然、プロスポーツチームのホームタウンといった恵まれたスポーツ・レクリエーション環境があります。これらの豊かな地域資源を活用したスポーツを推進します。

(1) いちはらの環境を活かしたスポーツの推進

本市の充実したスポーツ環境や四季折々の木々や草花など豊かな自然を楽しみながら行うスポーツ・レクリエーションイベントを開催するなど、本市の魅力が広まる取組を推進します。




<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
いちはらの環境を活かした スポーツ推進事業 【新規】 (スポーツ振興課)  【養老溪谷ファミリーハイキング】	<ul style="list-style-type: none"> 既存のハイキングイベントを近隣市町村と連携して、市民が楽しめるように拡充します。 養老溪谷で民間が開催しているトレイルランニングなど、本市の豊かな自然を活用したスポーツイベントについて、主催者と連携して、市民の参加機会を拡充します。 市民が気軽にウォーキングができるように、地域ごとに本市の名所等の紹介を兼ねたウォーキングマップを作成し、市民に周知します。また、各地区でスポーツ推進委員によるウォーキング大会等を開催します。 	
ゴルフの街いちはら事業 【新規】 (観光振興課)	ゴルフ場支配人会と連携し、ゴルフ場巡りキャンペーンなど積極的な集客プロモーション事業を行うことで、さらなるゴルファーの誘客、観光振興にもつなげます。	
市原市ジュニアゴルフ教室 【拡充】 (スポーツ振興課) 【再掲】	PGA との連携によりプロゴルファーによる、ゴルフ未体験の小・中学生にクラブの握り方やスイングの仕方、ゴルフコースに出てゴルフの楽しさやマナーを伝え、子どもたちの健全育成とゴルフの振興を図ります。	
市原高滝湖マラソンの開催支援 (スポーツ振興課)	市民の健康増進と体力づくりを図り、生涯スポーツを推進するため、市原高滝湖マラソンの開催を支援します。	

(2)ホームタウンチームと連携したスポーツの推進

ジェフユナイテッド市原・千葉や千葉ロッテマリーンズのホームタウンであるという特性を活かしたイベントを開催するなど、プロスポーツチームとの協働によるスポーツの推進に取り組みます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
千葉ロッテマリーンズとのフレンドシップ シティ・プログラム協定 【新規】(スポーツ振興課)	スポーツを通じて地域振興・地域貢献、青少年の健全な育成、市民の健康増進・豊かな社会生活の実現に向けて取り組みます。	
市原市民デーの開催 【拡充】(スポーツ振興課)	ジェフユナイテッド市原・千葉と千葉ロッテマリーンズの試合に市民を招待し、観戦機会を提供するとともに、スポーツの実践につなげます。	
ジェフユナイテッド市原・千葉 朝のあいさつ運動 (スポーツ振興課)	挨拶の励行と長期休業明けの小学生を元気づけるため、ジェフユナイテッド市原・千葉のキャラクターが小学校を訪問します。	



【ジェフユナイテッド市原・千葉 市原市民デー】



【千葉ロッテマリーンズ フレンドシップシティ・プログラム協定】

2-2 地域でのスポーツ活動の充実







だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、スポーツ活動に取り組むことができるよう、地域が主体となって開催されるスポーツイベント等を支援します。

地域のスポーツ振興や健康づくり、生きがいづくり、さらには地域コミュニティの形成など様々な効果が期待できる総合型地域スポーツクラブの自立的運営に向けた支援に取り組みます。

(1) 地域スポーツイベントへの支援

スポーツを通じた交流により、地域の活性化が図られることなどの効果が期待されます。地域の誰もが気軽に参加でき、地域住民が主体となって企画・実施する地域スポーツ大会・イベントの開催を支援します。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
市原市市民体育祭の開催支援 【拡充】(スポーツ振興課)	市民のスポーツ意欲の向上、健康増進、地域住民の交流を図るため、市内 10 地区 15 会場で地域の特色を活かしながら、運営方法の見直しなど、魅力ある市原市市民体育祭となるように支援します。	 
市原市スポーツ・レクリエーション祭の開催支援 【拡充】(スポーツ振興課)	手軽にできるスポーツの日常化を図り、市民の生涯を通じたスポーツ・レクリエーション活動の推進を図ることを目的に市内 10 地区で開催される市原市スポーツ・レクリエーション祭の開催を支援します。	 
地域でのスポーツイベント・教室の開催 (生涯学習課・市民活動支援課)	公民館やコミュニティセンターでは各種スポーツ教室や大会等、幅広い年齢層に向けたスポーツ関連事業を行い、スポーツを通じた地域住民の交流の場を提供し、地域コミュニティの醸成を図ります。	 




【市原市市民体育祭】

(2) 総合型地域スポーツクラブの支援

総合型地域スポーツクラブの設立や自立的な運営を支援します。

総合型地域スポーツクラブの認知度を高め、参加者の拡大のため、情報を広く提供します。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
総合型地域スポーツクラブ育成事業 (スポーツ振興課)	市内の総合型地域スポーツクラブに対して、施設の利用調整や、クラブマネージャーの育成支援などを行い、各クラブが自立した運営ができるように支援します。	



【総合型地域スポーツクラブ グラウンドゴルフ大会】





2-3 スポーツを支える団体の支援と人材の育成

本市ではスポーツを支える多くの人や団体が活動しています。市民の生涯にわたる自主的・主体的なスポーツ活動の実施や多様化するニーズに対応するため、本市で活動するスポーツ関係団体との連携・協力、スポーツを支える人材の育成を図ります。

(1) スポーツ関係団体への支援・連携

本市のスポーツ振興の担い手であるスポーツ関係団体が行うスポーツ活動を支援していくとともに、連携を図ることで、市民のスポーツ活動機会の増大や市民ニーズに合った機会の提供につなげます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
体育協会への支援 (スポーツ振興課)	体育協会が、「競技スポーツや一般市民を対象にスポーツ・レクリエーションの振興・普及に寄与する団体として」、充実発展を図るための支援を行います。	
スポーツ推進委員連絡協議会の充実 (スポーツ振興課)	スポーツ推進委員が地域でのスポーツ推進のため、市民に対して適切なスポーツの実技の指導や助言が行えるように研究大会や研修を通じて資質の向上と活動の活性化を図ります。	
社会体育振興会の充実 (スポーツ振興課)	市内における社会体育の振興・普及・啓発に努め、さらなる市民の健康増進と親睦融和を図ります。	
青少年育成団体への支援 (生涯学習課)	相互の連携を図りながら地域等で活動している青少年育成団体や事業等へ支援します。	



コラム (公益財団法人市原市体育協会)

本市のスポーツ事業の担い手として、行政との役割分担のもと、体育・スポーツに関する自主事業・イベントの実施や情報提供など、市民のニーズに沿ったスポーツ事業を展開しています。

また、市原市スポーツ推進計画の基本理念の実現に向け、関係団体や行政との連携により、スポーツ人口の拡大、競技力の向上、青少年の健全育成、地域のスポーツ指導者の育成など人づくり・まちづくりに取り組んでいます。







(2)スポーツ支える人材の育成

市民が身近なところでスポーツに親しめるよう、地域スポーツの担い手となる人材の育成・充実を図るとともに、体育協会やスポーツ団体と連携し、競技スポーツに幅広い知識や技術を備えた指導者の育成に努めます。

2020年東京オリンピック・パラリンピックなどの連続する世界大会を契機に、様々な場で活躍が期待できるスポーツボランティアの育成に努めます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
スポーツボランティア活用事業 【新規】(スポーツ振興課)	今後開催される世界規模のスポーツ大会の機運を生かし、市民からスポーツボランティアを募集し、スポーツ大会でボランティアとして活躍できる「人づくり」を進めます。	
スポーツ指導者セミナー (スポーツ振興課)	競技スポーツや地域のスポーツ活動を支える指導者や新たな指導者を育成し、正しく安全な指導ができるようにセミナーを開催します。	
スポーツ指導者バンク (体育協会)	市民のスポーツ活動の現場に出向き、技術や楽しみ方を教えることができる指導者を紹介します。 22種目(2016年度現在)	
学校支援ボランティア整備事業 (指導課)	地域住民によるボランティア活動を通して、子ども・学校・地域の連携強化を図り、地域社会の教育力の向上を推進します。	



【スポーツ推進委員講習会】



【ボランティアによる大会運営サポート】

2-4 競技スポーツの支援







競技スポーツは、自らの能力と技術の限界に挑戦する活動の中で、心身の健全育成にもつながることから、体育協会やスポーツ団体と連携し、競技レベルの向上や競技スポーツ人口の拡大につながる取組を支援します。

また、選手の活躍は市民に夢と感動を与え、市民のスポーツへの関心を高めることから、トップレベルの大会の招致や開催支援を行い、市民へのスポーツ観戦機会の提供に努めます。

(1)スポーツの競技力向上への支援

体育協会やスポーツ団体と連携し、各種大会で活躍できる選手の育成を支援します。また、国内外の大会で優秀な成績を収めた選手や団体、地域でスポーツ振興に貢献している選手、団体、指導者を支援することで、競技者等の意欲を高め、競技力の向上を図ります。


<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
スポーツ大会等の行事調整 (スポーツ振興課)	各種大会や体育協会加盟団体等の年間行事の調整をし、年間を通じて安定した大会運営が行えるように支援します。	
市民体育大会の開催 (スポーツ振興課)	生涯スポーツ推進の一環として、日頃から各種競技スポーツに取り組む市民に対し、その成果を披露する機会を提供するとともに、本市の競技力向上を図ります。	
競技用具等の整備 (スポーツ振興課)	競技大会運営のための用具の現状を把握しながら、競技大会運営に必要な用具等の整備に努めます。	
表彰制度の活用 (体育協会)	スポーツの普及振興に寄与し功績が顕著であった個人及び団体を表彰することで、受賞者の功績を讃えるとともに、市民のスポーツへの関心を高めます。	
体育大会選手派遣費の補助 (指導課)【再掲】	市内小中学校の体育振興を図り、児童・生徒の体力向上と健全な精神を養うため、大会参加に係る費用の一部を助成します。	
加盟競技団体等の運営助成事業 (体育協会)	加盟競技団体等の育成及び助成、ならびに競技力向上のために支援します。	

(2)国内外のトップレベルの大会の開催支援

トップレベルの大会の招致や開催支援を行い、市民にスポーツの観戦機会を提供することで、市民のスポーツへの関心を高める取組を推進します。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
国際・全国レベルのスポーツ大会の開催支援 (スポーツ振興課)	国際交流やシティセールスにもつながる、国際・全国レベルの大会開催を支援することによって、市民のスポーツに対する関心を高めます。	




【2014年全国高校総合体育大会(アーチェリー競技)】

3-1 大学との連携によるスポーツの活性化

大学の持つ専門的な知識や優秀な人材、施設、ノウハウ等は競技者の技術の向上につながります。また、地域と大学の交流は地域スポーツの活性化なども期待されることから、相互の資源を活用した連携の強化を図り、地域社会の発展、人材育成等を推進します。

＜主な取組＞

主な取組	取組の概要	視点
大学とのスポーツ連携事業 【新規】(スポーツ振興課)	大学が有する人材、施設、ノウハウ等を活かし、大学と地域が連携し、地域スポーツの活性化を図ります。	




【包括協定調印式】

3-2 スポーツを通じた広域連携の促進

スポーツによる広域連携は、交流人口の拡大や地域の活性化、住民のスポーツ振興や競技力向上に向けたスポーツ交流が期待されます。また、圏域の特性を活かした全体での誘致活動の推進により、大規模大会等実施の可能性も期待できることから、スポーツやレクリエーションの機会を通じて、近隣の自治体との連携を目指します。



＜主な取組＞

主な取組	取組の概要	視点
広域連携によるスポーツ施設等の相互利用 【新規】(スポーツ振興課)	利用者の利便性の向上や大規模大会等の誘致を目指し、広域連携によるスポーツ施設等の相互利用を検討します。	

3-3 スポーツツーリズム等を活用した地域活性化

スポーツをまちづくりや地域づくりのツールのひとつと捉え、恵まれた立地条件や観光資源・本市の特産品などと、スポーツが持つ「人を動かす力」を結び付け、参加交流型イベントの実施のほか、スポーツ合宿の誘致等に取り組みます。

<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
スポーツ合宿誘致事業 【新規】(スポーツ振興課)	本市のスポーツ施設と市内宿泊施設の連携を図り、市内宿泊者に対し、スポーツ施設を優先的に利用できるようにして、スポーツ合宿の誘致を行い、交流人口の増加を目指します。	
スポーツツーリズム事業 【新規】 (観光振興課・スポーツ振興課)	地域の特色を活かした資源や産業等とスポーツを融合したスポーツツーリズムの推進に努めます。	




【房総丘陵トレイルランレース】

3-4 2020年東京オリンピック・パラリンピック等を活用したスポーツ交流の推進

2018年世界女子ソフトボール選手権、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックと連続する国際大会に向けた機運醸成の取組を展開します。こうした取組を通じて、大会終了後もスポーツの文化が市民の生活に根付き、スポーツ活動が継続的に行われることを目指します。

また、スポーツを通じた国際交流により、諸外国との相互理解と友好親善を促進します。

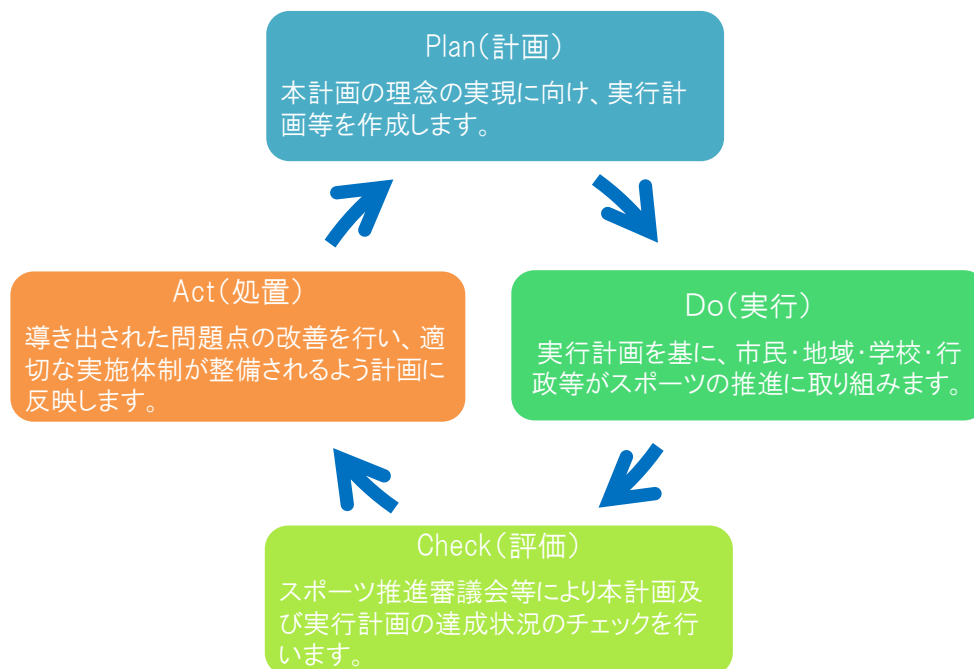
<主な取組>

主な取組	取組の概要	視点
2020年東京オリンピック・パラリンピック等推進事業 【新規】(総合計画推進課)	東京オリンピック・パラリンピック等の国際大会開催を契機に、スポーツの普及促進、本市の魅力発信による人の呼び込み、多様性を尊重する共生社会の推進、将来の市原を担う人づくりを進め、活力あるまちづくりを推進します。	
国際大会おもてなし事業 【新規】(総合計画推進課)	世界女子ソフトボール選手権に出場するニュージーランド女子ソフトボール代表合宿受入にあたり、大学、高校等との連携により、おもてなしの取組を展開し、将来のまちづくりを担う人材の育成を目指します。	
更級日記千年紀事業 【新規】(ふるさと文化課)	本市が誇る更級日記や関連する各種歴史遺産の周知を図り、これらに対する意識を高める効果につなげ、2020年東京オリンピック・パラリンピック等に関連した文化振興を行います。	
いちはら歴史のミュージアム事業 【新規】(埋蔵文化財調査センター)	市原への誇りと愛着を創出し歴史遺産の継承と地域の活性化につなげ、2020年東京オリンピック・パラリンピック等に関連した文化振興を行います。	
青少年育成団体への支援 (生涯学習課)	スポーツの親善試合を通して、国際交流や国際親善を図っている青少年育成団体等を支援します。	

第5章 計画の推進にあたって

1 計画の進行管理

計画推進のため、諸事業が円滑に実施され、スポーツ推進の基本理念の実現に向けた挑戦指標が達成されるように、「PDCAサイクル」※10による進行管理を行います。



【財源確保・予算の効率的な執行】

・計画推進には、財源の確保が必要となりますが、今後の厳しい財政状況等を踏まえ、スポーツに関する補助金・助成金等を活用するとともに、計画的かつ効率的な予算の執行に努めます。

【市原市スポーツ推進審議会の意見聴取等】

・数値目標として掲げた指標について、達成状況を確認するほか、スポーツに関する現状や実績などを報告し、市原市スポーツ推進審議会の意見等を踏まえて、施策や事業の拡充・見直し等を行います。

【計画の進捗状況の振り返りや見直し】

・計画の推進にあたっては、必要に応じて進捗状況を把握するため、市民意識調査等を活用して、進捗管理の為に設定した指標の達成状況により、施策を見直します。また、国・県の動向や、各上位計画等の改訂等に留意しながら、必要に応じて計画の見直しや今後の社会経済情勢の変化に応じた弾力的な運用を図ります。

※10 PDCAサイクル・・・Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(処置)の4段階を繰り返すことによって、業務を継続的に検証・改善する手法。

1 計画の策定経過

【計画の策定経過】

2015 年度	11月12日～26日	市民アンケート調査
	12月22日～1月15日	体育協会加盟団体アンケート調査
	1月13日～1月25日	庁内照会 ・現行計画の達成状況について
	2月16日	第1回市原市スポーツ推進審議会 ・現行計画の振り返り、計画策定の方向性について
	3月18日	第2回市原市スポーツ推進審議会 ・計画策定の方向性について
2016 年度	5月23日	計画策定方針決定
	7月14日～28日	市民アンケート調査
	11月14日	市原市総合計画策定推進本部会議 ・計画骨子案について
	11月17日	第1回市原市スポーツ推進審議会 ・計画骨子案について
	12月5日	計画骨子決定
	2月6日	市原市総合計画策定推進本部会議 ・計画素案について
	2月13日	第2回市原市スポーツ推進審議会 ・計画諮問
	2月13～3月14日	パブリックコメント
	3月13日	・計画答申
	3月27日	市原市総合計画策定推進本部会議 ・計画最終案報告
	3月29日	第3回市原市スポーツ推進審議会 ・計画最終案報告
	3月31日	計画決定

【市原市スポーツ推進審議会設置条例】

昭和53年3月27日

条例第8号

(設置)

第1条 本市にスポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定により、スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(平23条例22・一部改正)

(所管事務)

第2条 審議会は、法第35条に規定するもののほか、スポーツの推進に関する次に掲げる事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して市原市教育委員会(以下「教育委員会」という。)に建議する。

- (1) 法第10条第1項に規定する地方スポーツ推進計画に関すること。
- (2) スポーツ施設及び設備に関すること。
- (3) スポーツ指導者の養成及びその資質の向上に関すること。
- (4) スポーツ事業の実施及び奨励に関すること。
- (5) スポーツ団体の育成に関すること。
- (6) スポーツによる事故の防止に関すること。
- (7) スポーツの技術水準の向上に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

(平23条例22・全改)

(組織)

第3条 審議会は、7名以内の委員で組織し、次の各号に掲げる者の中から教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験のある者
 - (2) 公募に応じた者
- 2 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(平23条例22・一部改正)

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選によつて定める。
- 3 会長は、審議会の会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会の会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

2 会議の議事は出席委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(審議会の事務)

第6条 審議会の事務は、教育委員会において処理する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和53年4月1日から施行する。

附 則(平成23年12月16日条例第22号)

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例施行の際、改正前の市原市スポーツ振興審議会設置条例第3条第1項の規定により選任されたスポーツ振興審議会の委員及び同条例第4条第2項の規定により互選された会長又は副会長の職にある者は、改正後の市原市スポーツ推進審議会設置条例第3条第1項の規定により選任された委員及び同条例第4条第2項の規定により互選された会長又は副会長とみなし、その任期は、同条例第3条第2項の規定にかかわらず平成24年3月31日までとする。

【市原市スポーツ推進審議会委員名簿】

(任期:2016年4月1日～2018年3月31日)

氏名	役職・経歴	備考
しもはら まさき 下原 正規	公益財団法人 市原市体育協会理事長 公益財団法人 千葉県体育協会評議員	会長
たかはし ひとし 高橋 仁	帝京平成大学地域医療学部医療スポーツ学科准教授 東京都アスレチックトレーナー連絡協議会副会長 日本バレーボール協会強化事業本部メディカル委員会トレーナー一部副主事 日本オリンピック委員会強化スタッフ	副会長
ひろはし よしたか 廣橋 義敬	千葉大学名誉教授 元清和大学副学長・教授 日本体育学会名誉会員 日本体育・スポーツ政策学会名誉会員 元日本体育科教育学会会長 元千葉県スポーツ審議会委員 第65回国民体育大会常任委員	
と き ゆきお 土岐 幸雄	公益財団法人 市原市地域振興財団事務局長	
いとう かずのり 伊藤 数典	市原市小中学校体育連盟会長 市原市立南総中学校校長	
かどわき しずお 門脇 俊雄	ちはら台地区社会体育振興会副会長 公益財団法人 日本障がい者協会スポーツ指導員 一般社団法人 日本ボッチャ協会審判 介護保険法 福祉用具取扱相談員 介護保険法 ホームヘルパー2級	
くぼた ひろみ 久保田 弘美	市原市スポーツ推進委員連絡協議会副会長	

【市原市スポーツ推進審議会 諮問・答申】

市 教 ス 第 1454 号
平成 29 年 2 月 13 日

市原市スポーツ推進審議会
会長 下原 正規 様

市原市教育委員会

市原市スポーツ推進計画について(諮問)

市原市スポーツ推進審議会設置条例(昭和 53 年 3 月 27 日条例第 8 号)第 2 条の規定に基づいて、「市原市スポーツ推進計画」について諮問します。

平成 29 年 3 月 13 日

市原市教育委員会 様

市原市スポーツ推進審議会
会長 下原 正規

市原市スポーツ推進計画について(答申)

平成 29 年 2 月 13 日付け市教ス第 1454 号で諮問のありました「市原市スポーツ推進計画」につきまして、当審議会において各分野における見地から、丁寧かつ活発な審議を行った結果について、下記のとおり答申します。

答 申

記

本計画は、本市の現状を踏まえた上で、「ひとと地域のかがやきが育む いちはらのスポーツ文化」の基本理念に基づき、基本方針から具体的な取組まで体系化し、わかりやすく整理されています。

また、本計画は市原市総合計画及び市原市教育大綱とも整合が図られ、「スポーツ健康都市宣言」にも通じるものであります。

以上のことから、諮問された原案を了といたしますので、スポーツ施策の総合的な指針として十分に機能を発揮し、あらゆる力を結集して基本理念の実現が図られることを期待します。

なお、スポーツ施策の推進にあたっては、下記の事項に留意されたい。

- 1 本計画の推進にあたっては、国・県の計画に沿いつつも本市の現状を踏まえ独自の視点を持つとともに、市民や地域・関係団体等の理解や協力が必要であることから、様々な機会を捉えて周知に努められたい。
- 2 スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤であることから、市民の誰もが各々の年代や関心、適正等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図るため、「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しみ方や関わり方等を提案するなどスポーツ参画人口の拡大とそのための人材育成や場の充実に努められたい。
- 3 障がい者をはじめ配慮が必要な多様な人々が、スポーツに親しめる環境の整備やスポーツによる交流により、心のバリアフリーや共生社会の実現を目指した取組に努められたい。
- 4 当審議会の審議過程において、各委員から述べられた意見・要望については、計画の実施段階において十分配慮された上で、スポーツ推進を図られたい。

2 スポーツに関するデータ

【アンケート調査結果：市民対象】

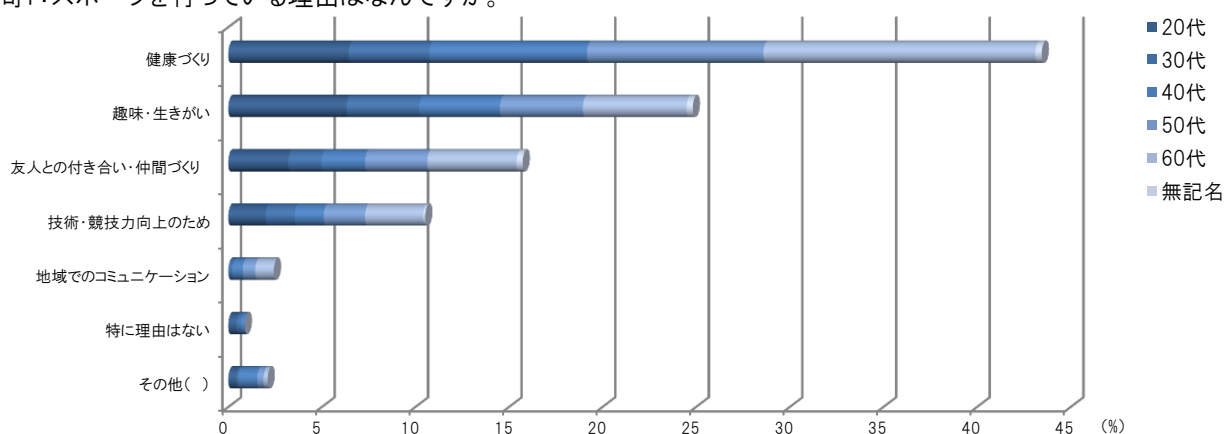
◆調査の目的

・本市のスポーツ振興施策の方向性や具体的な取組内容を検討する基礎資料とすることを目的に実施しました。

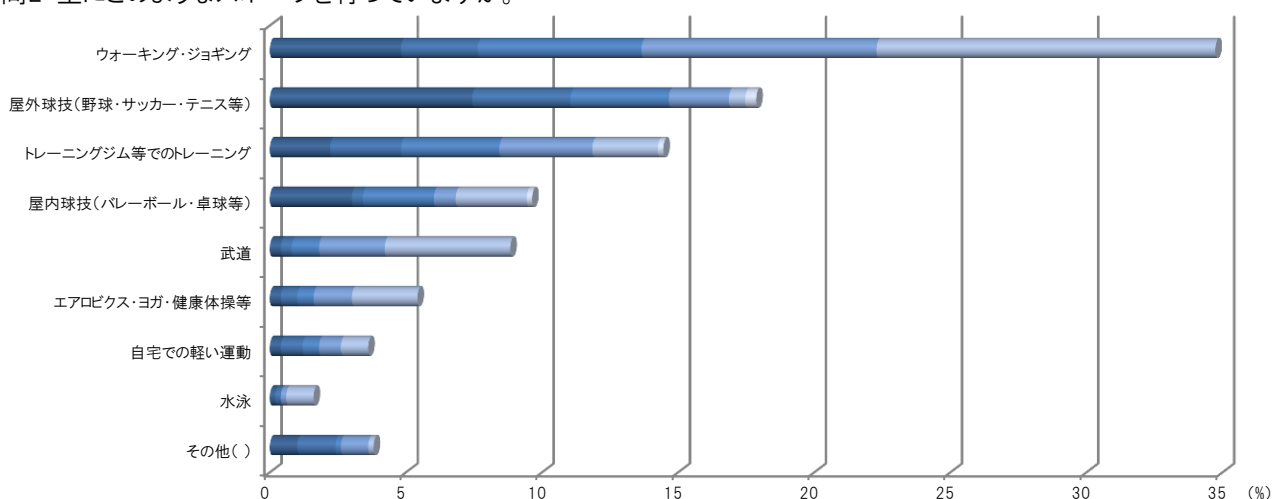
◆調査の概要

- ・調査期間 2015年11月12日(木)～2015年11月26日(木)
- ・調査方法 アンケート調査票を持参配付し、調査期間終了後に回収
- ・配付先 体育協会、市内臨海部工場連絡会、市内福祉施設、市内障がい者施設
- ・調査対象 市内在住、20歳以上、1,000人（736人回答）

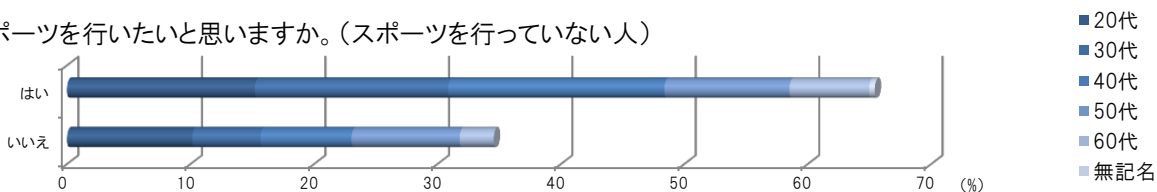
問1：スポーツを行っている理由はなんですか。



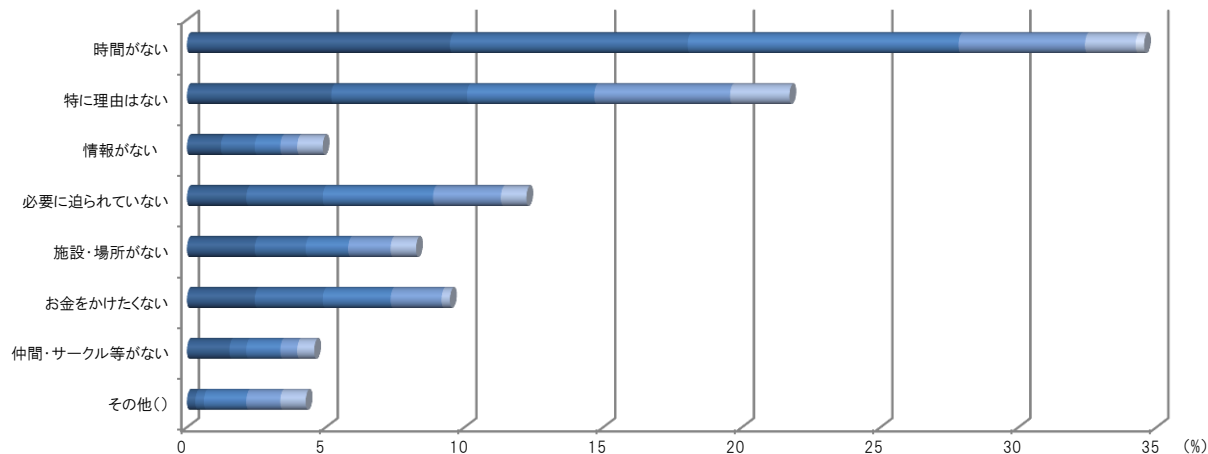
問2：主にどのようなスポーツを行っていますか。



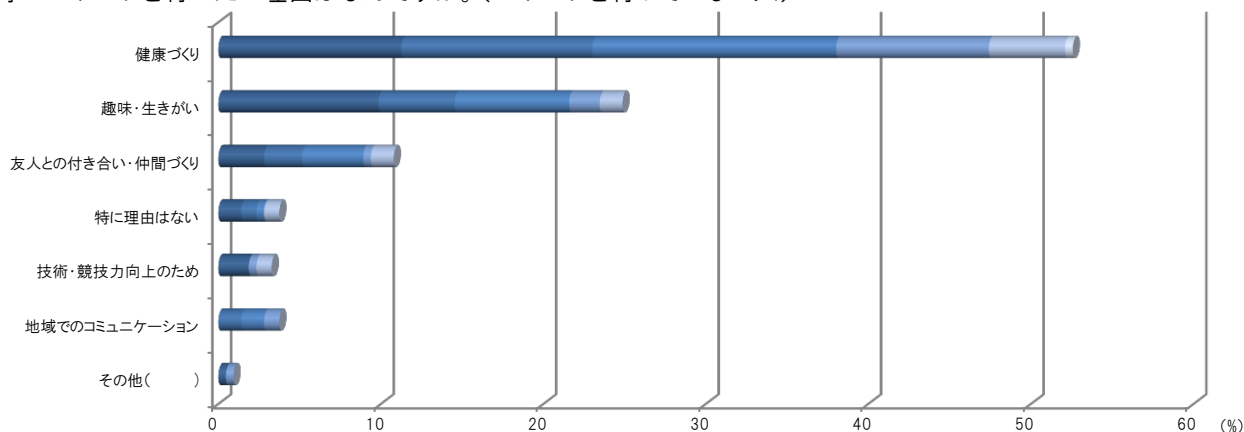
問3: スポーツを行いたいと思いますか。(スポーツを行っていない人)



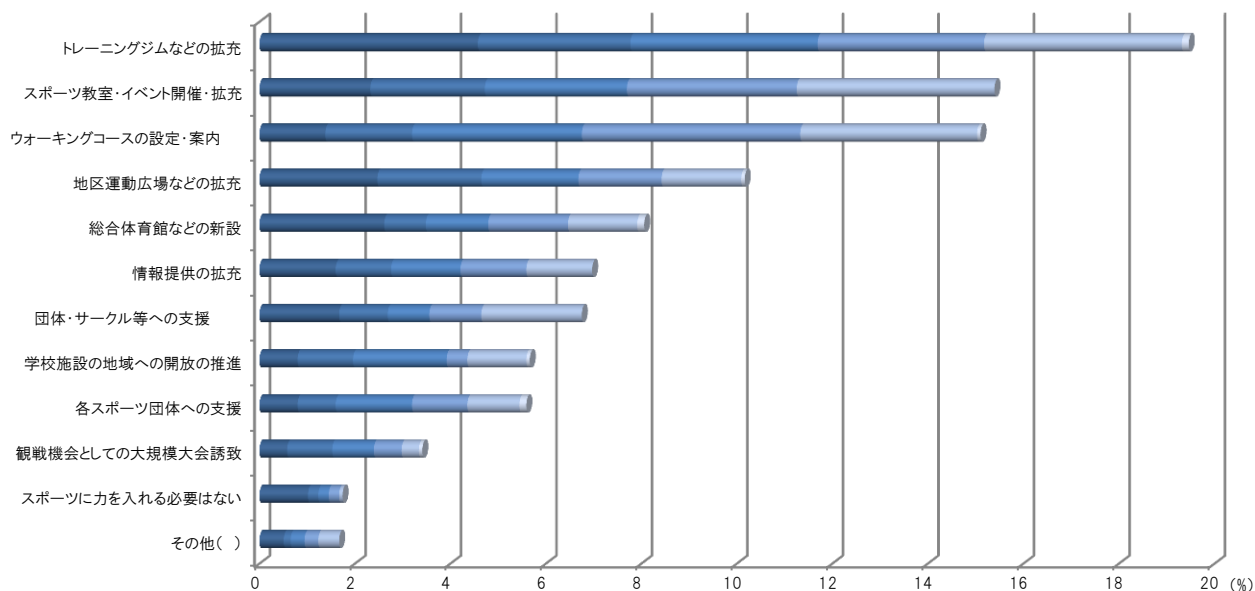
問4: スポーツを行っていない理由はなんですか。(スポーツを行っていない人)



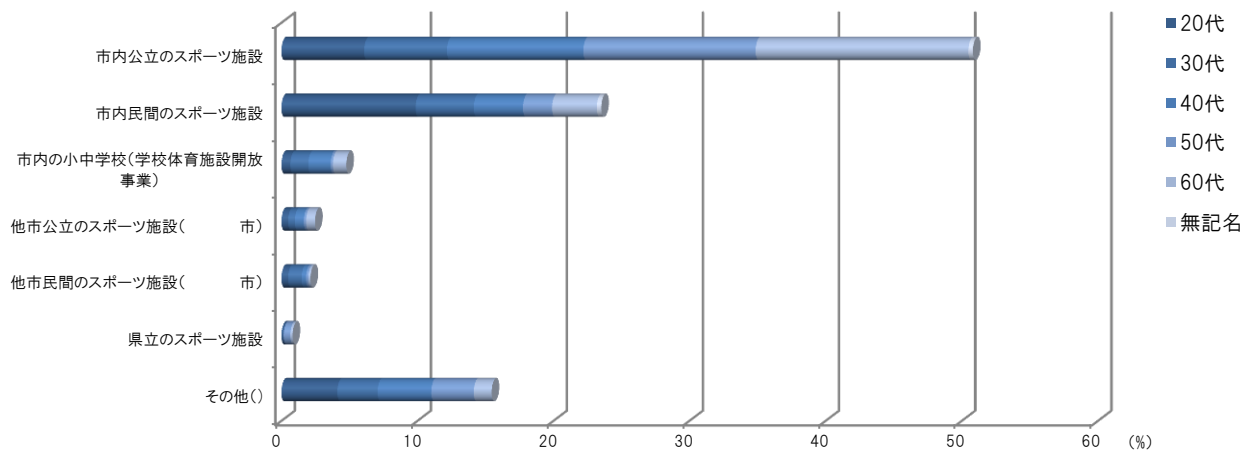
問5: スポーツを行いたい理由はなんですか。(スポーツを行っていない人)



問6: スポーツに関して市に力を入れてほしいことはなんですか。



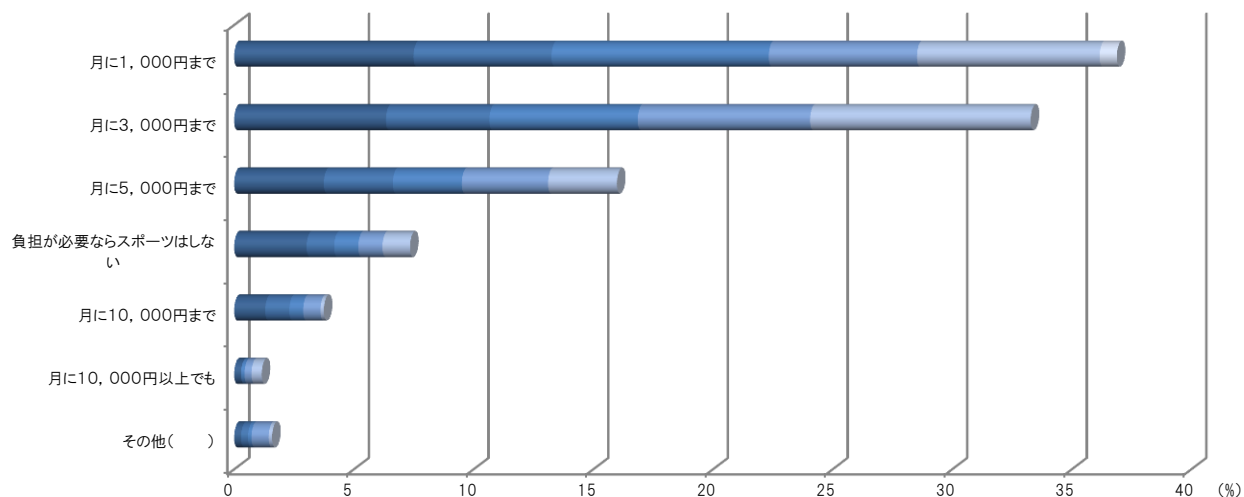
問7:よく利用しているスポーツ施設はなんですか。



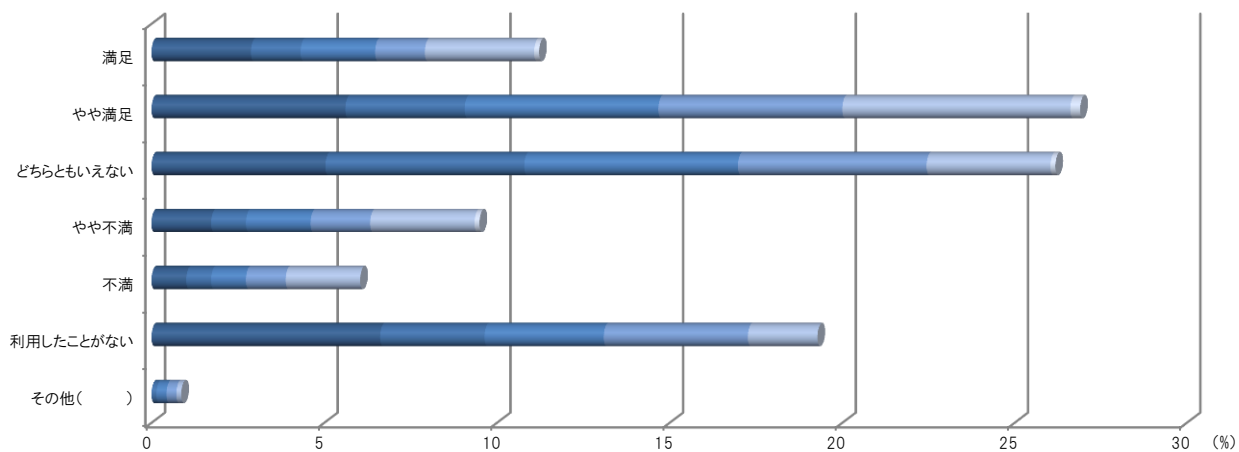
※他市:千葉市、袖ヶ浦市

その他:利用していない 等

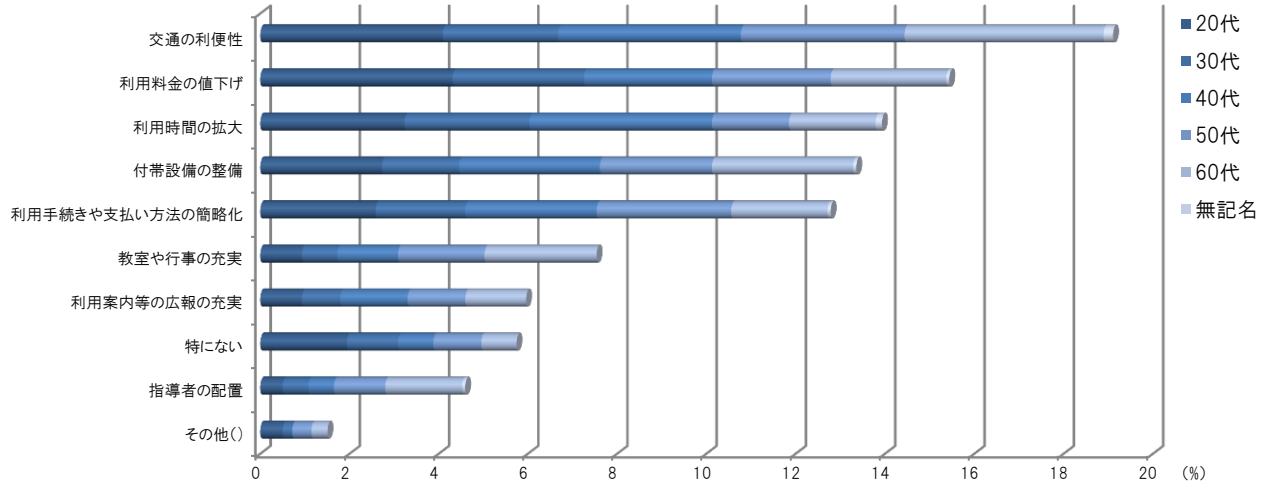
問8:施設使用料や参加料は負担できる金額はいくらですか。



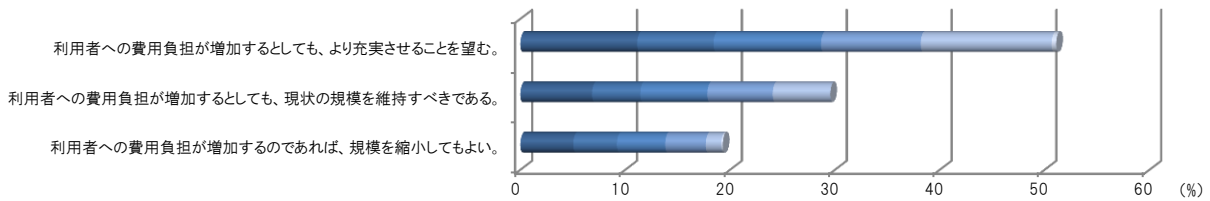
問9:市内にある公共スポーツ施設について満足していますか。



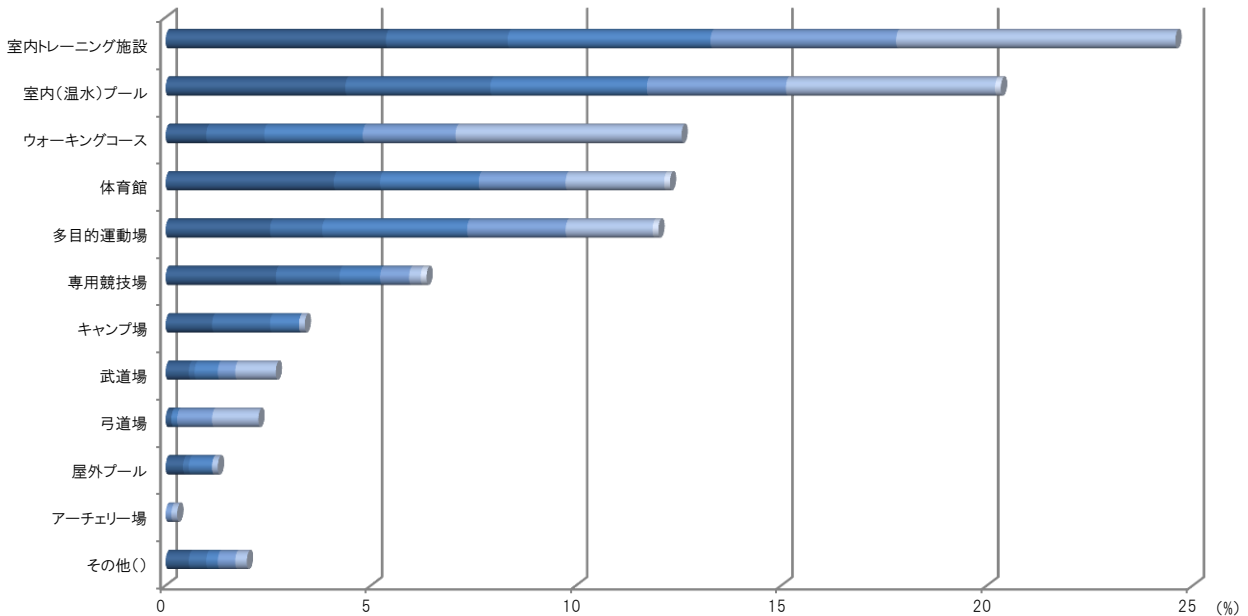
問10: 公共スポーツ施設に、どのようなことを望みますか。



問11: 利用者の負担と、市内公共スポーツ施設の規模や種類についての考え方で、近いものを教えて下さい。



問12: どのようなスポーツ施設を充実していくことが必要だと思いますか。



【アンケート調査結果: 体育協会加盟団体対象】

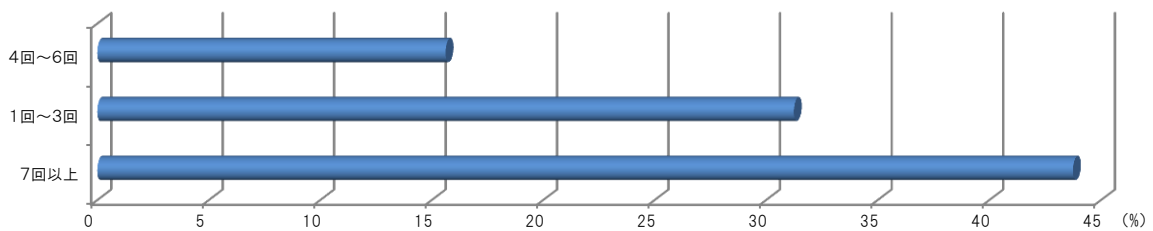
◆調査の目的

・本市のスポーツ振興施策の方向性や具体的な取組内容を検討する基礎資料とすることを目的に実施しました。

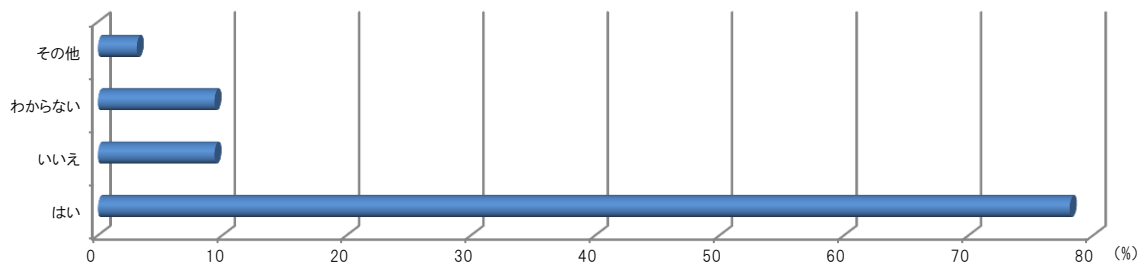
◆調査の概要

- ・調査期間 2015年12月22日(火)～2016年1月15日(金)
- ・調査方法 アンケート調査票を郵送により回答
- ・配付先 体育協会加盟団体
- ・調査対象 41団体 (32団体回答)

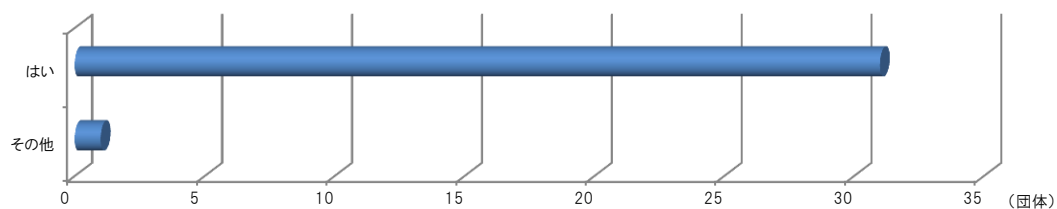
問1: 各団体独自のスポーツ教室・大会は開催していますか。
※市民体育大会は除く



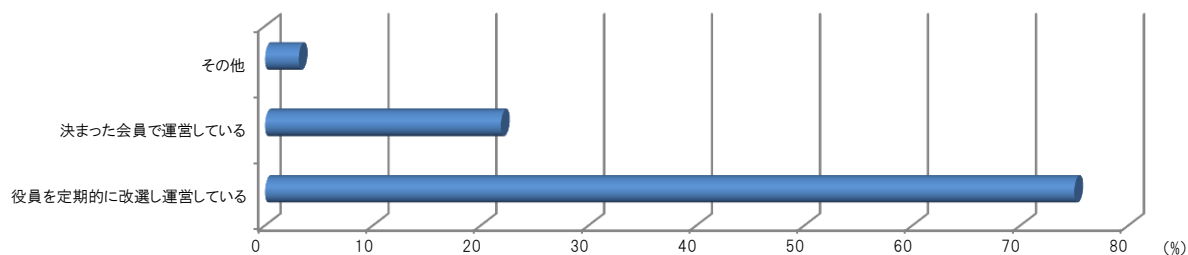
問2: スポーツ教室開催の場合、講師の派遣は可能ですか。



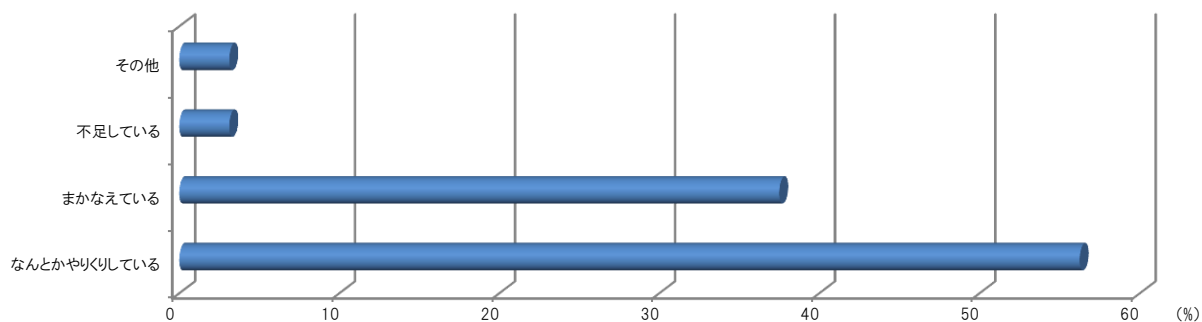
問3: 市民体育大会の開催は今後も必要であると思いますか。



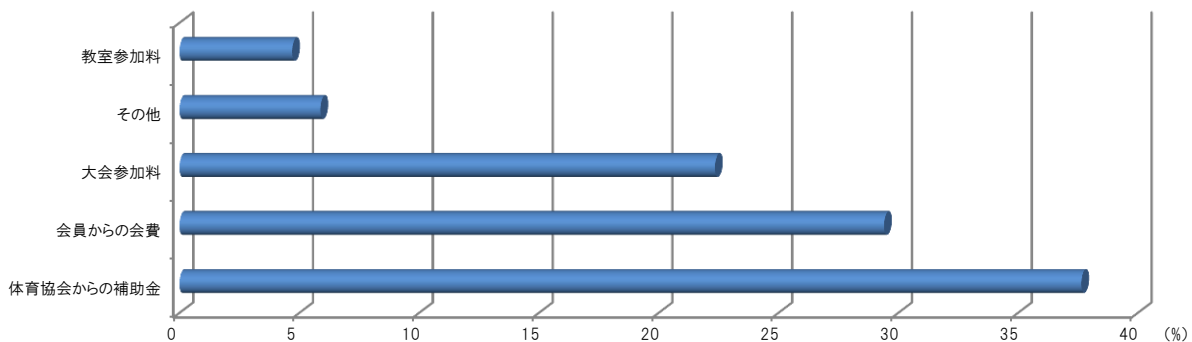
問4: 各団体運営はどのように行っていますか。



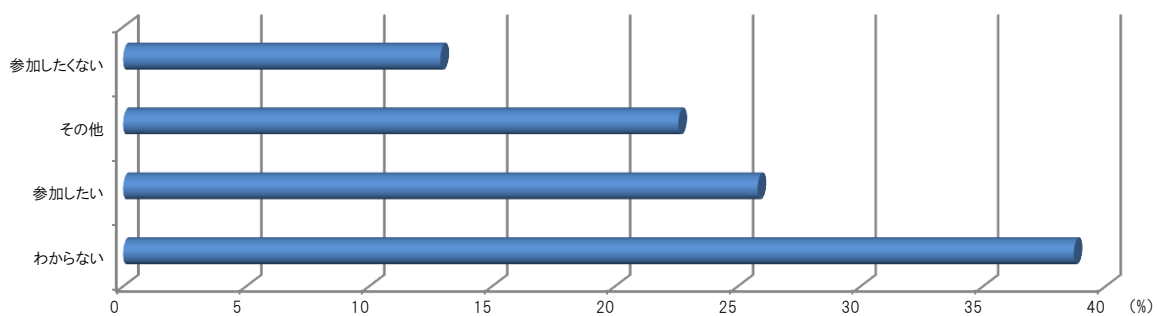
問5: 各団体の運営費はまかなえていますか。



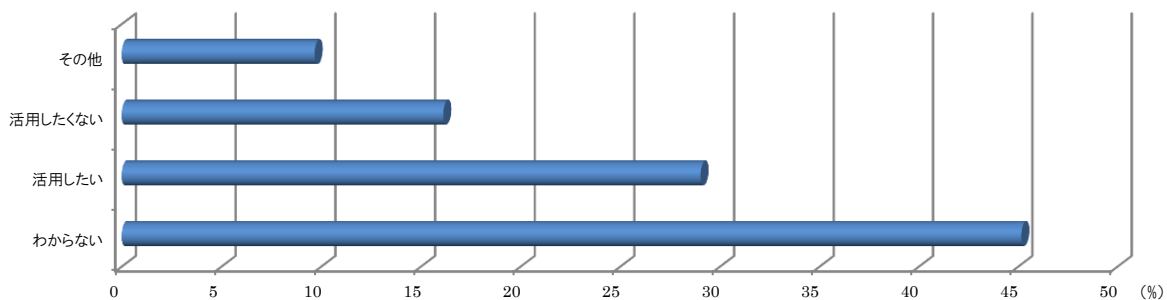
問6: 各団体の運営費はどのように捻出していますか。(○は該当するものすべて)



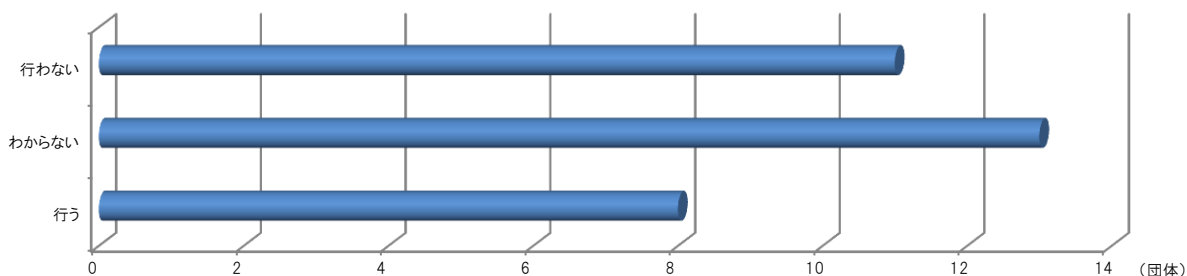
問7: 行事の運営、受付、準備などを行うスポーツボランティアとして参加したいですか。



問8: 各団体でスポーツボランティアを活用していきたいと思いませんか。



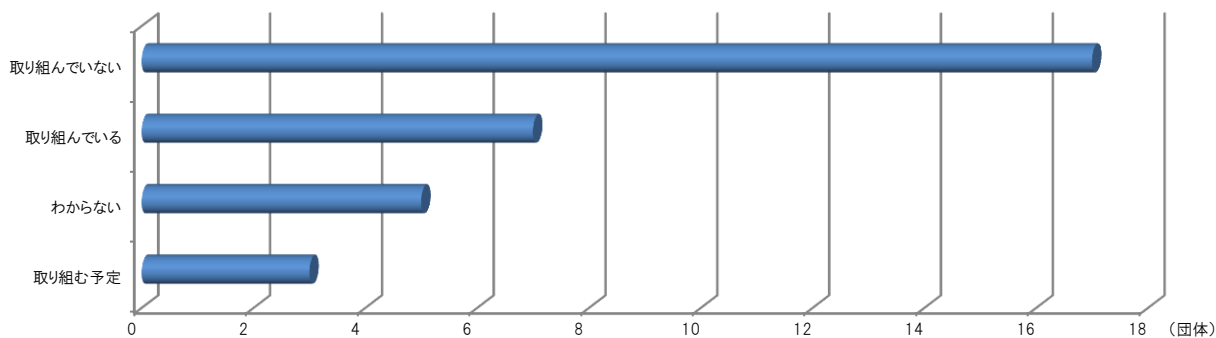
問9: 各団体において2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みを行ないますか。



※理由 行わない: 競技種目でない、レベルが違いすぎる、選手がいない

行う: 選手の育成、競技種目のPR等の取り組み

問10: 各団体において障がい者のスポーツ参加について取り組んでいますか。



※理由 取り組んでいない: 要望がない、危険が伴う、需要がない等

取り組んでいる: 日本アンパティサッカー協会との交流

【本市の全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果】

2013年

▼は全国平均を下回るもの

学年	区分	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフト・ハンドボール投げ (cm)	持久走 1000m (秒)	体力合計点
5年男子	全国	16.63	19.54	32.73	41.41	51.41	9.38	152.07	23.19	—	53.87
	県	16.78	20.69	33.75	43.42	54.76	9.28	156.06	22.53	—	55.60
	市	16.63	20.81	33.17	42.98	53.54	9.38	158.03	▼ 21.31	—	55.01
5年女子	全国	16.14	18.06	36.87	39.06	39.66	9.64	144.55	13.94	—	54.70
	県	16.26	19.42	38.05	41.18	43.48	9.52	148.80	13.58	—	56.84
	市	16.31	20.04	37.54	41.47	44.53	9.54	150.94	▼ 13.01	—	57.22
2年男子 (中学)	全国	29.21	27.58	43.11	51.08	84.98	8.04	193.68	21.01	393.90	41.78
	県	29.32	28.83	47.21	52.15	86.76	7.88	197.44	21.29	387.60	44.55
	市	▼ 28.01	29.26	46.30	51.80	▼ 84.64	7.87	194.03	▼ 20.47	▼ 412.40	43.44
2年女子 (中学)	全国	23.76	23.03	45.12	45.27	57.20	8.88	166.18	12.97	292.71	48.42
	県	24.32	24.73	48.75	46.58	61.07	8.66	171.79	13.17	286.11	52.21
	市	▼ 23.35	25.15	47.65	▼ 45.21	58.33	8.76	167.07	▼ 12.23	288.88	49.94

〔出典「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2013年)文部科学省〕

2014年

▼は全国平均を下回るもの

学年	区分	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフト・ハンドボール投げ (cm)	持久走 1000m (秒)	体力合計点
5年男子	全国	16.55	19.56	32.87	41.61	51.67	9.38	151.70	20.90	—	53.91
	県	16.53	20.62	33.60	43.40	55.06	9.28	154.87	22.14	—	55.46
	市	▼ 16.43	20.66	33.93	44.32	55.29	▼ 9.41	156.63	▼ 20.57	—	55.44
5年女子	全国	16.09	18.26	37.21	39.36	40.29	9.64	144.76	13.90	—	55.01
	県	16.09	19.67	38.18	41.31	44.25	9.52	148.57	13.51	—	57.07
	市	▼ 16.02	19.78	38.73	42.37	45.29	▼ 9.66	147.95	▼ 12.94	—	57.08
2年男子 (中学)	全国	29.00	27.45	42.92	51.31	85.29	8.03	193.43	20.86	392.89	41.74
	県	29.17	28.71	46.69	52.11	87.28	7.89	196.22	21.04	388.93	44.29
	市	▼ 28.72	29.58	46.98	52.64	85.51	8.00	▼ 193.42	▼ 19.72	▼ 411.07	43.75
2年女子 (中学)	全国	23.70	23.07	45.23	45.63	57.77	8.87	166.53	12.88	290.64	48.66
	県	24.27	24.73	48.29	46.74	61.73	8.67	171.47	13.07	283.84	52.07
	市	▼ 23.61	26.49	47.70	47.02	62.43	8.74	171.23	▼ 12.68	▼ 307.88	52.01

〔出典「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2014年)文部科学省〕

2015年

▼は全国平均を下回るもの

学年	区分	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフト・ハンドボール投げ (cm)	持久走 1000m (秒)	体力合計点
5年男子	全国	16.45	19.58	33.05	41.60	51.64	9.38	151.24	22.52	—	53.80
	県	16.47	20.54	33.87	43.08	54.99	9.29	154.68	21.74	—	55.29
	市	16.63	20.82	33.83	43.16	54.04	9.35	154.10	▼ 20.75	—	55.09
5年女子	全国	16.05	18.42	37.44	39.55	40.69	9.62	144.77	13.77	—	55.18
	県	16.08	19.80	38.48	41.03	44.56	9.50	148.60	13.43	—	57.15
	市	16.20	19.99	39.41	41.57	43.46	9.59	146.94	▼ 12.92	—	57.01
2年男子 (中学)	全国	28.93	27.43	43.08	51.62	85.56	8.01	194.05	20.65	392.63	41.89
	県	29.09	28.80	47.00	52.51	86.88	7.86	197.11	20.79	387.84	44.44
	市	▼ 28.25	29.19	46.13	▼ 51.55	86.57	7.91	▼ 193.90	▼ 19.93	▼ 415.90	43.40
2年女子 (中学)	全国	23.68	23.26	45.53	46.09	58.06	8.84	167.28	12.83	290.03	49.08
	県	24.18	25.11	48.94	47.26	62.10	8.62	172.37	13.09	282.01	52.76
	市	▼ 23.38	26.48	48.24	47.17	61.84	8.70	171.36	▼ 12.60	282.17	51.96

〔出典「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2015年)文部科学省〕

2016年

▼は全国平均を下回るもの

学年	区分	握力 (kg)	上体起こし (回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳び (点)	20m シャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち幅跳び (cm)	ソフト・ハンドボール投げ (cm)	持久走 1000m (秒)	体力合計点
5年男子	全国	16.47	19.67	32.87	41.97	51.89	9.38	151.39	22.42	—	53.92
	県	16.41	20.51	33.49	43.12	54.83	9.29	153.86	21.45	—	55.04
	市	▼ 16.23	20.66	32.88	43.05	52.47	▼ 9.43	152.26	▼ 20.14	—	54.15
5年女子	全国	16.13	18.60	37.21	40.06	41.29	9.61	145.31	13.88	—	55.54
	県	16.08	19.72	38.02	41.16	44.78	9.51	148.00	13.43	—	57.01
	市	▼ 15.87	20.25	▼ 37.04	41.45	44.16	9.60	147.06	▼ 12.99	—	56.58
2年男子 (中学)	全国	28.91	27.46	43.06	51.93	86.24	8.03	194.69	20.59	391.72	42.13
	県	28.91	28.61	46.54	52.62	88.17	7.87	196.70	20.56	385.27	44.35
	市	▼ 27.54	28.27	43.41	51.98	▼ 85.34	7.92	▼ 191.59	▼ 19.09	▼ 407.68	▼ 41.97
2年女子 (中学)	全国	23.75	23.48	45.46	46.60	58.80	8.83	168.28	12.85	288.51	49.56
	県	24.10	25.03	48.38	47.19	62.35	8.63	172.01	12.91	281.85	52.42
	市	▼ 23.08	25.35	46.01	47.28	62.35	8.64	169.21	▼ 11.97	▼ 288.67	50.86

〔出典「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(2016年)スポーツ庁〕

【本市の中学校運動部加入状況】

① 中学校在生徒数

市原市小中学校体育連盟 学校教育課 調べ 2016年5月1日現在

	1年	2年	3年	合 計	男 子	女 子
市内22校合計	2,340	2,407	2,435	7,182	3,688	3,494
()内は2009年5月	(2,578)	(2,582)	(2,637)	(7,797)	(3,951)	(3,846)

② 中学校男女別運動部活動加入数

市原市小中学校体育連盟 学校教育課 調べ 2016年5月1日現在

No.	運動部活動名 ()内は2009年5月	設置校数	男子設 置校数	女子設 置校数	男子部 員総数	女子部 員総数	男子運動 部加入率	女子運動 部加入率
1	陸上競技	3(3)	3(4)	3(2)	87(52)	81(50)	2.36(1.32)	2.32(1.30)
2	水 泳	1(1)	1(1)	1(1)	30(15)	18(16)	0.81(0.38)	0.52(0.42)
3	バスケットボール	21(20)	17(16)	20(19)	376(347)	353(331)	10.20(8.78)	10.10(8.61)
4	サッカー	21(20)	21(20)	0(0)	678(650)	3(5)	18.38(16.45)	0.09(0.13)
5	軟式野球	19(20)	19(20)	0(0)	340(602)	1(0)	9.22(15.24)	0.03(0)
6	体操競技	0(1)	0(1)	0(1)	0(2)	0(6)	0(0.05)	0(0.16)
7	バレーボール	16(17)	3(6)	16(17)	36(123)	376(414)	0.98(3.11)	10.76(10.76)
8	ソフトテニス	19(18)	16(13)	18(18)	581(505)	507(565)	15.75(12.78)	14.51(14.69)
9	卓 球	19(19)	17(19)	12(11)	454(446)	263(192)	12.31(11.28)	7.53(4.99)
10	バドミントン	5(6)	4(4)	4(6)	136(135)	107(203)	3.69(3.42)	3.06(5.28)
11	ソフトボール	6(8)	0(0)	6(8)	0(0)	107(142)	0(0)	3.06(3.69)
12	柔 道	5(6)	5(6)	4(5)	66(121)	27(40)	1.79(3.06)	0.77(1.04)
13	剣 道	16(17)	16(16)	15(14)	159(197)	107(96)	4.31(4.97)	3.06(2.50)
	合 計	151 (156)	122 (126)	99 (102)	2,943 (3,195)	1,950 (2,060)	79.8 (80.84)	55.81 (53.57)

【公益財団法人市原市体育協会加盟団体・加盟者数】

公益財団法人市原市体育協会 調べ

※各年度末(3月31日現在)に報告されたもの

(単位:人)

No.	協会名	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年
1	野球協会	3714	3,714	3,602	3,607	2,398	2,186	2,123
2	卓球協会	1150	1,150	1,150	1,260	1,260	1,360	1,360
3	ソフトテニス協会	898	891	869	869	933	952	976
4	柔道連盟	300	280	310	247	208	232	193
5	剣道連盟	710	710	565	565	578	648	648
6	陸上競技協会	267	204	310	321	321	348	348
7	バレーボール協会	2015	1,880	1,605	1,529	1,485	1,347	1,143
8	バドミントン協会	801	1,185	1,110	1,183	1,138	1,150	1,143
9	サッカー協会	2758	2,758	2,855	2,754	3,217	2,910	3,026
10	テニス協会	1578	1,744	1,797	1,683	1,523	1,587	1,583
11	弓道協会	165	165	184	188	191	193	178
12	水泳協会	0	0	休会	0	0	0	0
13	バスケットボール協会	2765	2,905	2,843	2,786	2,538	2,632	2,503
14	ラグビーフットボール協会	108	108	108	112	118	171	172
15	ソフトボール協会	530	530	500	640	540	510	496
16	ハンドボール協会	81	72	85	77	106	87	121
17	クレ射撃協会	70	70	70	70	65	62	60
18	相撲協会	200	225	230	260	747	733	867
19	空手道連盟	770	685	745	731	683	630	280
20	ヨット協会	27	28	28	27	27	27	22
21	アマチュアボクシング協会	34	33	38	36	28	30	24
22	ライフル射撃協会	17	15	18	16	17	17	19
23	スキー連盟	135	126	126	116	110	105	104
24	アマチュアゴルフ協会	0	370	250	280	230	300	300
25	体操協会	72	30	31	24	21	27	30
26	スケート協会	121	76	78	46	32	56	74
27	ボウリング協会	90	664	664	264	220	223	休会
28	合気道連盟	155	155	155	78	70	70	64
29	少林寺拳法協会	400	400	400	400	400	250	178
30	自転車競技連盟	43	41	37	35	35	38	39
31	カヌー協会	23	22	25	25	27	30	休会
32	綱引き連盟	休会	20	20	20	20	20	20
33	なぎなた連盟	37	36	36	36	31	34	31
34	ゲートボール協会	420	339	305	289	305	226	245
35	アーチェリー協会	150	208	216	220	225	240	220
36	ダンススポーツ協会	427	427	391	336	336	346	328
37	太極拳協会	160	150	156	153	160	150	115
38	グランド・ゴルフ協会	—	—	377	356	345	322	345
39	スナッグゴルフ協会	—	—	33	45	45	40	40
40	レクリエーション協会	652	275	145	64	61	54	48
41	スポーツ少年団	171	173	281	345	311	270	244
	合計	22,014	22,864	22,748	22,093	21,105	20,613	19,710

【市原市内の総合型地域スポーツクラブ】

スポーツ振興課 調べ

クラブ名	設立年	会員数 (2015年度末現在)	教室等参加者数(延べ)			
			2012年	2013年	2014年	2015年
千種ふれあいくらぶ	2008年4月	140	2,929	1,731	1,913	2,494
加茂ふれあいクラブ	2011年3月	71	3,167	3,206	2,940	3,432
帝京平成スポーツアカデミー	2013年3月	611	—	6,436	13,888	16,980
VONDS市原	2013年4月	58	—	680	1,170	2,500

【千葉県公立社会体育施設現有用数】

千葉県教育庁 教育振興部体育課 調べ 2015年

	1 陸上競技場	2 野球場		3 球技場	4 運動広場	5 屋内プール		6 屋外プール		7 庭球場	8 卓球場	9 柔道場	10 剣道場	11 柔剣道場	12 相撲場	13 弓道場	14 体育館	15 トレーニング場	16 海水浴場	17 ランニングコース	18 サイクリングコース	19 キャンプ場	20 ゲートボール場		21 ハイキングコース	22 冒険遊具コース	23 射撃場	24 ゴルフ場	25 ゴルフ場	26 ゴルフ場	27 グラウンドゴルフ場	28 フィットネススタジオ	29 パークゴルフ場	30 その他	計			
		面数	面数			面数	面数																															
千葉県	5	12	13	3	7	2	6	3	13	12	101	0	0	1	0	3	5	3	0	0	1	6	2	10	7	3	1	2	0	0	0	0	0	0	5	83		
1 市原市	1	8	8	6	6	1	2	3	9	12	43	0	0	2	2	1	14	3	0	0	0	4	14	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	67
2 千葉市	0	31	33	6	29	5	19	7	22	38	140	0	2	2	0	3	2	19	10	1	0	2	2	9	16	0	1	0	1	3	0	0	0	0	3	176		
3 習志野市	0	2	2	1	7	0	4	1	1	4	20	0	0	0	0	0	4	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	25		
4 八千代市	1	2	2	0	1	2	3	0	0	0	3	15	1	2	1	0	0	1	8	3	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	27		
5 船橋市	1	2	3	1	26	1	2	4	6	31	1	1	1	1	0	1	2	4	2	0	2	0	1	7	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61		
6 市川市	1	16	28	1	10	0	0	4	10	5	16	0	2	2	0	1	1	11	3	0	2	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61		
7 浦安市	1	5	6	3	1	1	6	1	4	7	26	1	1	1	1	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27		
8 松戸市	1	2	2	1	6	2	5	3	6	7	28	1	0	1	1	1	8	1	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	36	
9 柏市	0	6	9	4	10	0	5	13	12	55	1	2	2	0	1	2	14	2	0	0	1	2	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68		
10 野田市	1	6	7	2	2	0	1	4	4	14	0	1	1	1	0	0	7	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	31			
11 流山市	0	2	10	0	4	1	0	3	6	3	11	1	3	1	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24		
12 我孫子市	0	3	6	1	4	0	0	0	0	3	12	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	
13 鎌ヶ谷市	1	2	3	0	4	0	0	0	2	7	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16		
14 佐倉市	1	3	3	1	2	0	0	2	5	3	16	1	1	0	0	1	3	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	23		
15 成田市	1	4	4	1	19	0	0	3	7	13	38	1	1	1	1	1	9	1	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	64			
16 四街道市	0	3	3	0	4	1	2	1	3	6	21	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19		
17 八街市	0	5	7	1	1	0	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	9	21	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	26		
18 酒々井町	0	1	1	1	1	0	0	1	4	1	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
19 富里市	0	2	2	0	3	0	0	0	2	4	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
20 栄町	0	4	4	0	3	0	0	1	2	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
21 印西市	1	6	6	2	6	0	0	0	9	23	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	30		
22 白井市	1	1	1	0	2	0	0	1	3	6	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
23 香取市	0	9	12	1	4	3	6	0	0	6	15	1	0	0	3	0	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	35			
24 神崎町	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
25 東庄町	0	2	2	0	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
26 多古町	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
27 綾子市	0	1	1	0	3	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
28 旭市	0	5	5	0	1	0	0	0	3	19	1	0	0	0	0	1	4	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	18			
29 匝瑳市	0	3	3	0	3	0	0	0	2	9	0	0	0	0	0	0	3	1	1	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16		
30 東金市	1	1	1	0	1	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7		
31 大網白里市	0	1	1	2	2	0	0	0	0	1	2	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
32 九十九里町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9		
33 山武市	2	5	5	0	5	0	0	0	5	18	0	0	0	1	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23		
34 横芝光町	1	5	5	1	3	2	5	0	3	15	0	0	0	0	0	0	3	1	2	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23		
35 芝山町	1	2	2	1	1	0	0	0	1	2	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
36 茂原市	0	1	1	0	2	0	0	0	0	1	11	1	1	1	0	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12		
37 一宮町	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6		
38 白子町	0	2	3	1	1	0	0	0	2	19	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11		
39 長柄町	0	1	1	0	3	0	0	1	2	1	4	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10		
40 長南町	1	1	1	0	1	2	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1	6	1	0												

【市原市社会体育施設一覧】

スポーツ振興課調べ 2017年3月22日現在

施設種別	施設名称	所在地	連絡先
陸上競技場	ゼットエーオリピスタジアム	岩崎536	公園管理所
野球場	ゼットエーボールパーク	岩崎315	公園管理所
野球場	玉前球場	玉前西3-1	公園管理所
野球場	養老川臨海第1球場	五井南海岸1-12	公園管理所
野球場	養老川臨海第2球場	五井南海岸1-12	公園管理所
野球場	南総運動広場 野球場	奉免166-1	市原市教育委員会 スポーツ振興課
野球場	姉崎運動広場 野球場	椎津1550	市原市教育委員会 スポーツ振興課
野球場	三和運動広場 野球場	磯ヶ谷1606-2	市原市教育委員会 スポーツ振興課
球技場	市原スポレクパーク	菊間775	市原スポレクパーク
球技場	姉崎サッカー場	姉崎海岸23-2	姉崎公園管理所
球技場	姉崎多目的広場	姉崎海岸23-2	姉崎公園管理所
球技場	八幡球技場	八幡440	八幡公園管理所
球技場	八幡サッカー場	八幡1050-3	八幡公園管理所
球技場	ちはら台多目的スポーツ広場	ちはら台西3-3	ちはら台公園管理所
球技場	加茂運動広場 ミニ球技場	本郷370-1	市原市教育委員会 スポーツ振興課
運動広場	市津運動広場 多目的広場	潤井戸11-2	市原市教育委員会 スポーツ振興課
運動広場	加茂運動広場 多目的広場	本郷370-1	市原市教育委員会 スポーツ振興課
屋内プール	サンプラザ市原 温水プール	五井中央西1-1-25	サンプラザ市原
屋外プール	臨海プール	岩崎283	公園管理所
屋外プール	八幡プール	八幡440	八幡公園管理所
屋外プール	姉崎プール	姉崎海岸23-2	姉崎公園管理所
屋外スケート場	姉崎スケート場	姉崎海岸23-2	姉崎公園管理所
庭球場	臨海第1庭球場	岩崎560	公園管理所
庭球場	臨海第2庭球場	岩崎401	公園管理所
庭球場	八幡庭球場	八幡440	八幡公園管理所
庭球場	ちはら台庭球場	ちはら台西3-3	ちはら台公園管理所
庭球場	御影台庭球場	ちはら台東5-21	ちはら台公園管理所
庭球場	堂坂庭球場	ちはら台西1-2	ちはら台公園管理所
庭球場	南総運動広場 庭球場	奉免166-1	市原市教育委員会 スポーツ振興課
庭球場	姉崎運動広場 庭球場	椎津1550	市原市教育委員会 スポーツ振興課
庭球場	三和運動広場 庭球場	磯ヶ谷1606-2	市原市教育委員会 スポーツ振興課
庭球場	市津運動広場 庭球場	潤井戸11-2	市原市教育委員会 スポーツ振興課
庭球場	高滝湖畔公園 テニスコート	養老467	高滝ダム記念館
柔剣道場	ゼットエー武道場 大道場	能満1474-1	ゼットエー武道場
柔剣道場	市原市武道館	八幡1272-3	市原市教育委員会 生涯学習課
相撲場	ゼットエー武道場 相撲場	能満1474-1	ゼットエー武道場
相撲場	三和コミュニティセンター 相撲場	海上有木235-1	三和コミュニティセンター
弓道場	ゼットエー武道場 弓道場	能満1474-1	ゼットエー武道場
体育館	臨海体育館	岩崎292	公園管理所
体育館	八幡公民館 体育室	八幡1050-1	八幡公民館
体育館	五井公民館 体育室	五井5472-1	五井公民館
体育館	姉崎公民館 体育室	姉崎2150-1	姉崎公民館
体育館	有秋公民館 体育室	有秋台西1-3-2	有秋公民館
体育館	南総公民館 体育室	牛久520-1	南総公民館
体育館	市津公民館 体育室	下野90-1	市津公民館
体育館	加茂公民館 体育室	養老949-1	加茂公民館
体育館	辰巳公民館 体育室	辰巳台西3-14-1	辰巳公民館
体育館	国分寺公民館 体育室	南国分寺台1-2-6	国分寺公民館
体育館	市原市勤労会館 体育室	更級5-1-18	市原市勤労会館
体育館	三和コミュニティセンター 体育館	海上有木235-1	三和コミュニティセンター
体育館	菊間コミュニティ福祉センター 体育館	菊間1870-4	菊間コミュニティセンター
体育館	ちはら台コミュニティセンター 体育室	ちはら台南6-1-3	ちはら台コミュニティセンター
トレーニング場	ゼットエー武道場 健康増進センター	能満1474-1	ゼットエー武道場
トレーニング場	サンプラザ市原 フィットネスジム	五井中央西1-1-25	サンプラザ市原
トレーニング場	市原市勤労会館 健康増進室1	更級5-1-18	市原市勤労会館
ゲートボール場	市原市ゲートボール場	能満1501	市原市ゲートボール場
ゲートボール場	南総運動広場 ゲートボール場	奉免166-1	市原市教育委員会 スポーツ振興課
ゲートボール場	姉崎運動広場 ゲートボール場	椎津1550	市原市教育委員会 スポーツ振興課
ゲートボール場	三和運動広場 ゲートボール場	磯ヶ谷1606-2	市原市教育委員会 スポーツ振興課
エアラライフル場	ゼットエー武道場 エアラライフル場	能満1474-1	ゼットエー武道場
フィットネススタジオ	サンプラザ市原 JOYスタジオ	五井中央西1-1-25	サンプラザ市原
フィットネススタジオ	市原市勤労会館 健康増進室2	更級5-1-18	市原市勤労会館

【市原市社会体育施設利用状況】

公園緑地課・観光振興課・市民活動支援課・高齢者支援課・スポーツ振興課 調べ 2017年3月22日現在

施設名	会場	1993年	1998年	2003年	2008年	2015年	施設名	会場	1993年	1998年	2003年	2008年	2015年		
		上段(利用件数) 人							上段(利用件数) 人						
		下段(利用者数) 人							下段(利用者数) 人						
緑地運動公園	臨海体育館	466	527	626	578	640	姉崎運動広場	野球場	372	305	185	129	101		
	ゼットエーボールパーク	272	改修工事	228	210	207		庭球場	9,044	7,302	2,595	4,243	1,543		
	ゼットエーオリブリスタジアム	21,677		20,705	80,937	48,001		野球場	4,056	2,080	1,517	1,411	1,690		
	臨海第1庭球場	67	102	92	155	185		三和運動広場	野球場	27,206	23,918	10,708	9,434	8,693	
	臨海第2庭球場	165,865	152,261	19,723	54,331	54,513			野球場		360	275	228	281	
	臨海プール	801	2,541	518	947	4,790		市津運動広場	庭球場		9,434	4,353	7,969	6,180	
	臨海プール	14,498	32,691	6,665	8,463	25,457			多目的広場		1,298	1,070	936	1,183	
	養老川臨海公園	養老川	3,331	2,402	2,938	4,900		5,381	加茂運動広場	多目的広場		8,519	5,179	3,537	6,677
		臨海第1球場	37,451	27,939	25,385	30,229		30,357		庭球場			550	186	343
		養老川		4	3	3		6		庭球場			2,570	2,896	3,514
臨海第2球場		8,771	8,076	8,152	8,936	5,779	庭球場				21,730	17,221	20,724		
玉前公園	玉前球場	115	66	152	129	97	姉崎公園	多目的広場					148		
	臨海第1球場	15,675	7,426	7,162	11,930	5,595		ミニ球技場					5,193		
八幡運動公園	八幡サッカー場	106	69	169	116	82	市原スポーツレクパイク	天然芝グラウンドA					58		
	八幡庭球場	17,473	7,429	6,943	9,858	5,336		天然芝グラウンドB					1,286		
八幡公園	八幡庭球場	136	84	213	169	153	サンプラザ市原	天然芝グラウンドC							
	八幡プール	15,758	6,998	7,409	7,309	4,338		天然芝グラウンドD							
	八幡球技場	443	302	289	599	578		フィットネスジム							
	八幡庭球場	37,419	30,453	22,204	37,365	72,384		温水プール							
ゼットエー武道場	大道場	9	16	12	24	24	勤労会館	エアロビクス							
	相撲場	50,247	34,088	27,330	30,818	31,283		教室							
	弓道場	76	142	218	648			健康増進室1							
	健康増進センター	3,340	5,029	8,369	38,045			健康増進室2							
	エアライフル場	63,750	68,677	75,989	78,408	71,047		体育室							
市原市ゲートボール場	ゲートボール場	1,206	714	787	2,011	2,339	オリジナルメーカー海づり公園								
	ゲートボール場	12,771	8,766	10,761	9,973	11,651	スケートコート オリオリランド								
ちはら台公園	ちはら台多目的スポーツ広場	66,352	52,735	50,917	50,064	51,337	高滝湖畔公園広場テニスコート	スケートコート オリオリランド							
	ちはら台庭球場	1,782	1,145	650	681	824		高滝湖畔公園広場テニスコート							
公御影園台	御影台庭球場	177	159	340	132	1,434									
	御影台庭球場	9,523	9,332	9,894	8,520	11,891									
公堂園坂	堂坂庭球場	236	89	79											
	堂坂庭球場	9,033	5,360	5,175											
南総運動広場	野球場	1,681	2,210	2,467											
	庭球場	10,648	11,923	16,214											
公御影園台	御影台庭球場	1,962	3,511	2,812											
	御影台庭球場	18,034	21,314	18,275											
公堂園坂	堂坂庭球場	1,638	2,145	2,228											
	堂坂庭球場	10,967	11,041	11,652											
南総運動広場	野球場	368	374	180	125	105									
	庭球場	22,040	15,146	8,739	5,511	3,591									
南総運動広場	野球場	1,487	1,171	864	762	1,019									
	庭球場	9,928	14,332	10,948	3,084	6,572									
							オリジナルメーカー海づり公園		56,793	49,012	39,085	46,148	59,055		
							スケートコート オリオリランド						5,213		
							高滝湖畔公園広場テニスコート		2,652	1,269	1,610	1,353	1,571		

【市原市公民館・コミュニティセンター体育施設利用状況】

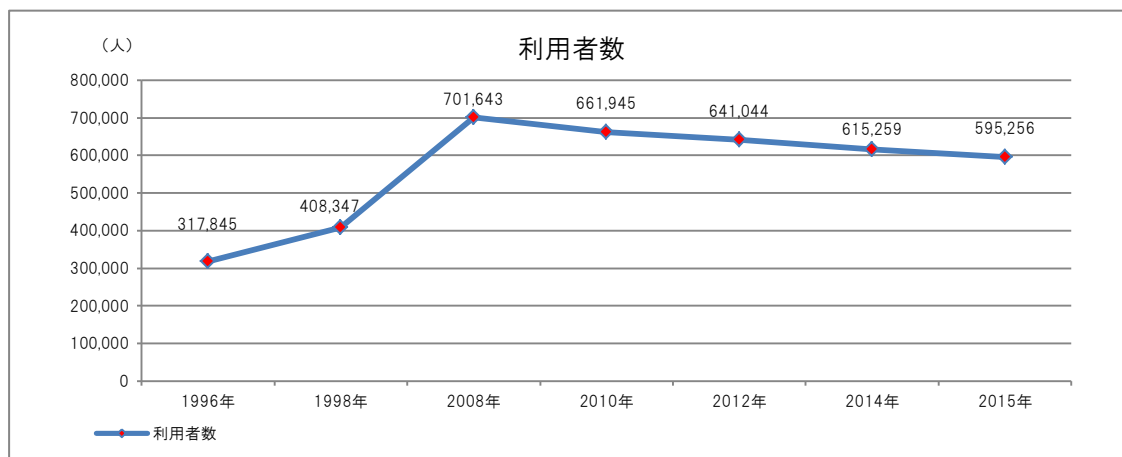
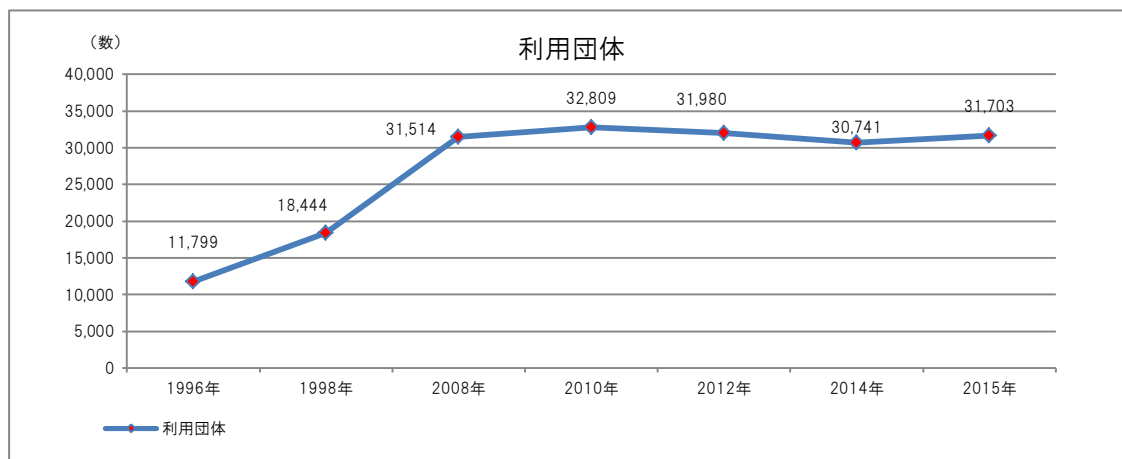
市民活動支援課・生涯学習課 調べ

総称	1993年	1998年	2003年	2008年	2015年	総称	1993年	1998年	2003年	2008年	2015年
施設名	上段(利用件数) 人					施設名	上段(利用件数) 人				
	下段(利用者数) 人						下段(利用者数) 人				
姉崎公民館	1,594	1,530	1,728	2,063	2,375	南総公民館	829	682	736	1,137	1,519
体育室	28,222	26,798	25,797	20,760	31,674	体育室	17,600	12,206	17,085	17,837	21,327
有秋公民館	1,371	1,052	1,230	1,487	2,012	加茂公民館	345	398	505	540	892
体育室	15,579	17,179	18,759	20,361	19,589	体育室	11,691	10,255	11,311	8,112	14,461
五井公民館	1,084	813	1,078	1,717	2,358	三和社区センター				1,128	1,481
体育室	16,848	13,256	19,353	21,198	25,061	体育館				17,864	23,062
国分寺公民館	568	697	719	1,112	1,873	菊間コミュニティセンター				1,534	2,312
体育室	11,730	13,452	14,020	17,683	20,365	体育室				23,523	29,879
八幡公民館	997	992	1,023	1,591	2,324	ちはら台コミュニティセンター				1,239	2,067
体育室	17,900	16,541	20,651	20,760	26,571	体育室				32,707	34,411
辰巳公民館	1,021	1,131	1,162	1,669	2,551	千種コミュニティセンター				2,044	2,243
体育室	16,900	17,209	22,514	27,726	36,512	多目的室1・2				18,299	18,399
市津公民館	637	798	624	1,029	2,073	戸田コミュニティセンター				153	2,016
体育室	14,436	14,106	16,203	17,442	20,152	多目的室1・2				1,165	24,303
鶴舞公民館				236	182	合 計	8,446	8,093	8,805	18,679	28,278
体育室				3,902	3,608		150,906	141,002	165,693	269,339	349,374

【市原市立小中学校体育施設開放事業 利用者数】

スポーツ振興課 調べ

	1996年	1998年	2008年	2010年	2012年	2014年	2015年
利用団体	11,799	18,444	31,514	32,809	31,980	30,741	31,703
利用者数	317,845	408,347	701,643	661,945	641,044	615,259	595,256





市原市マスコットキャラクター

オツサくん

市原市スポーツ推進計画
〈ひとと地域のかがやきが育む いちはらのスポーツ文化〉

2017年3月

発行 市原市

〒290-8501

千葉県市原市国分寺台中央一丁目1番地1

TEL 0436(22)1111

編集 市原市教育委員会 生涯学習部 スポーツ振興課

TEL 0436(23)9851